

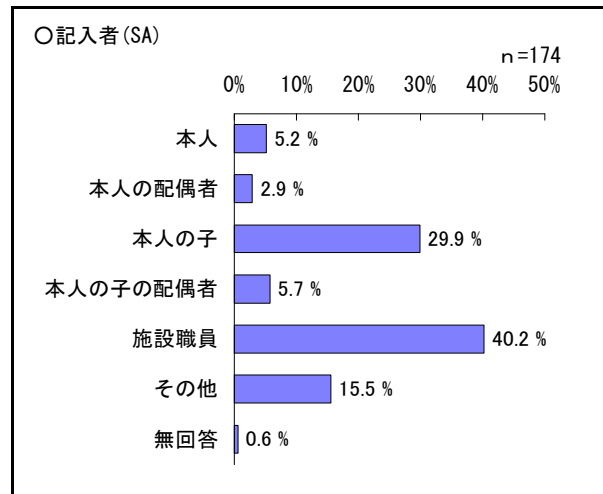
IV

施設入所者

回答者の属性 (単位：人)	
性別	
男	32
女	141
無回答	1
年齢	
64 歳以下	2
65-69 歳	4
70-74 歳	5
75-79 歳	21
80-84 歳	39
85 歳以上	101
無回答	2
入所施設	
介護老人福祉施設	114
介護老人保健施設	37
介護療養型医療施設	19
特定施設	2
無回答	2

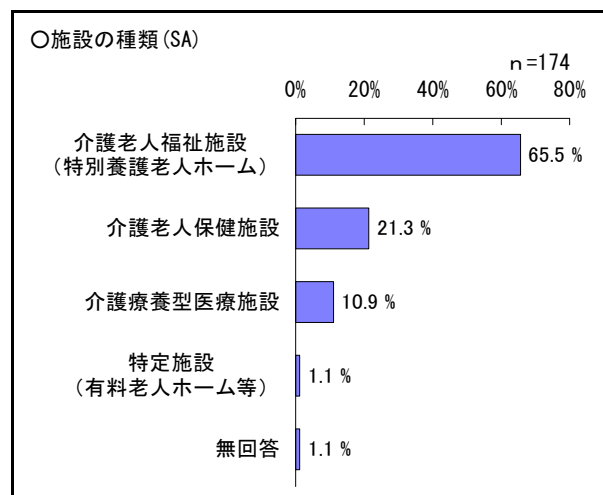
○調査票記入者【単数回答】

調査の記入者は、「施設職員」が約4割、「本人の子」が約3割となっています。



○現在の入所（入院）施設の種類【単数回答】

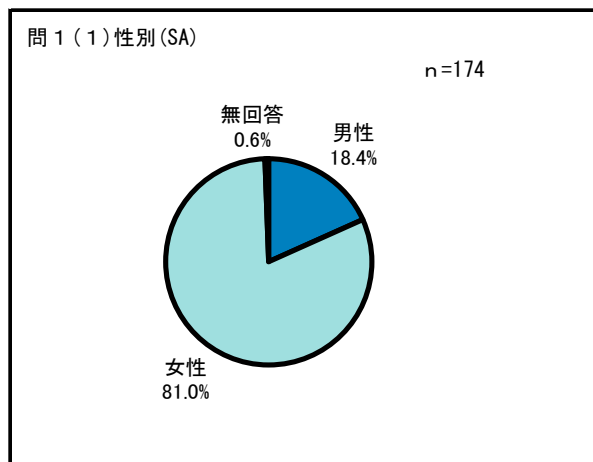
現在の入所（入院）施設の種類についてみると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が6割を超えて最も多くなっています。



1. 入所されているご本人のことについて

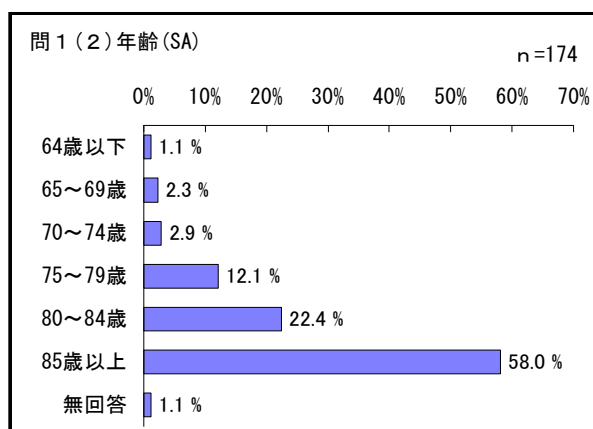
問1(1) 性別 [単数回答]

回答者の性別は「男性」が2割弱、「女性」が約8割となっています。



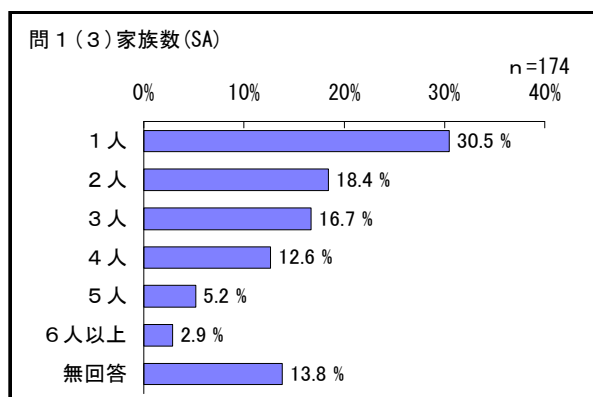
問1(2) 年齢 [単数回答]

年齢についてみると、「85歳以上」が58.0%と最も多く、次いで「80～84歳」が22.4%となっています。



問1(3) 家族数(本人を含めて) [単数回答]

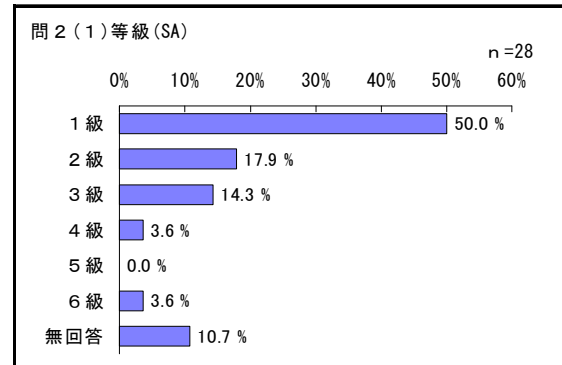
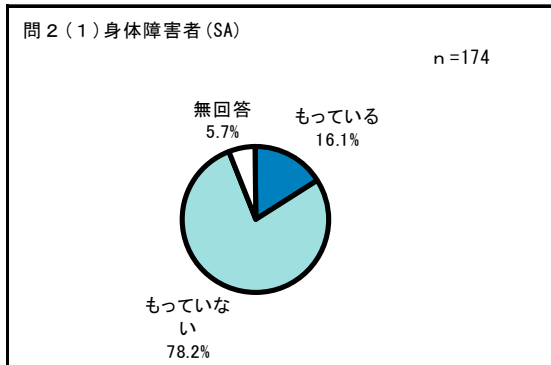
家族数についてみると、「1人」が30.5%と最も多く、次いで「2人」が18.4%となっています。



問2 あなたは、障害者手帳などの交付を受けていますか。

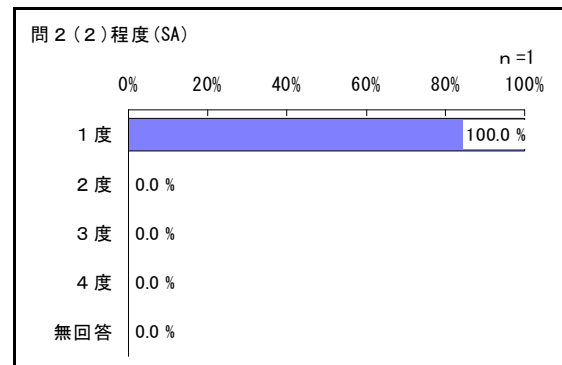
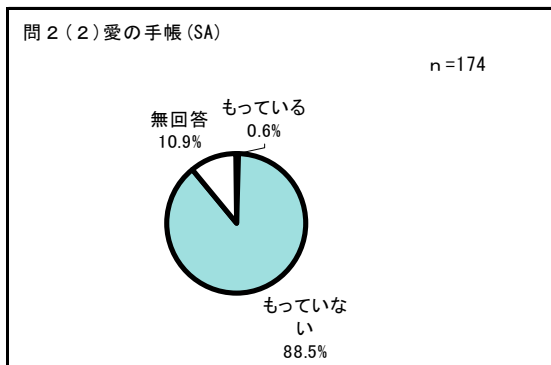
(1) 身体障害者手帳 [単数回答]

身体障害者手帳についてみると、「もっている」人は全体の16.1%です。等級についてみると、「1級」が50.0%と最も多く、次いで「2級」が17.9%となっています。



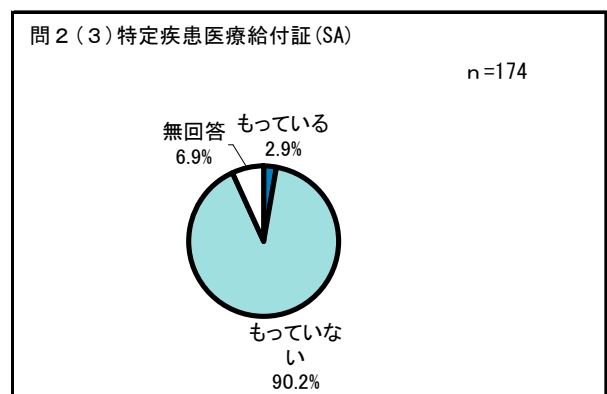
(2) 愛の手帳 [単数回答]

愛の手帳の交付についてみると、「もっている」との回答は0.6%（1名）でした。等級については、「1度」と回答されています。



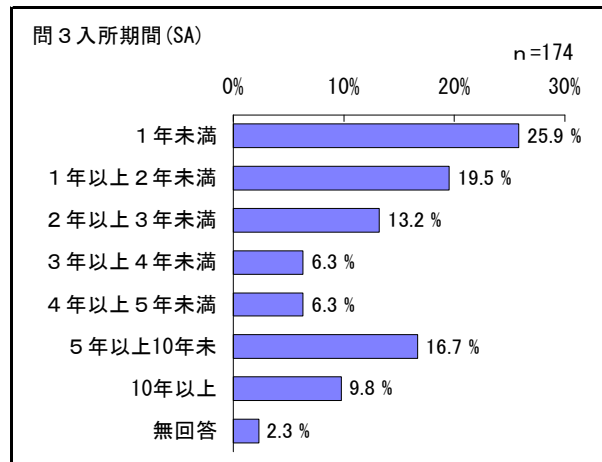
(3) 特定疾患医療給付証（難病医療費助成制度の受給証） [単数回答]

特定疾患医療給付証の交付についてみると、「もっている」方は2.9%となっています。



問3 現在の施設へ入所（入院）して何年になりますか。[単数回答]

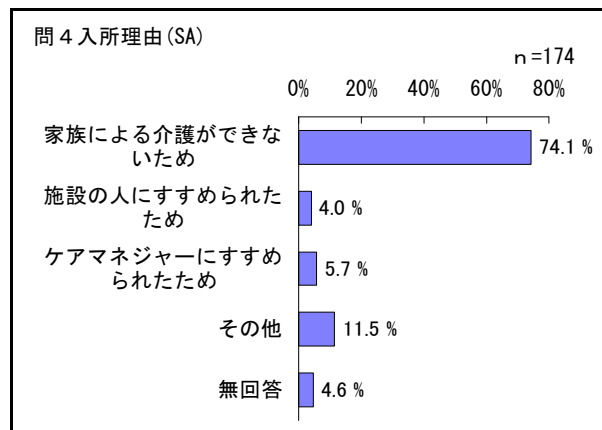
入所（入院）して何年になるかについてみると、「1年未満」が25.9%と最も多く、次いで「1年以上2年未満」が19.5%となっています。



問4 どのような理由で入所（入院）しましたか。[単数回答]

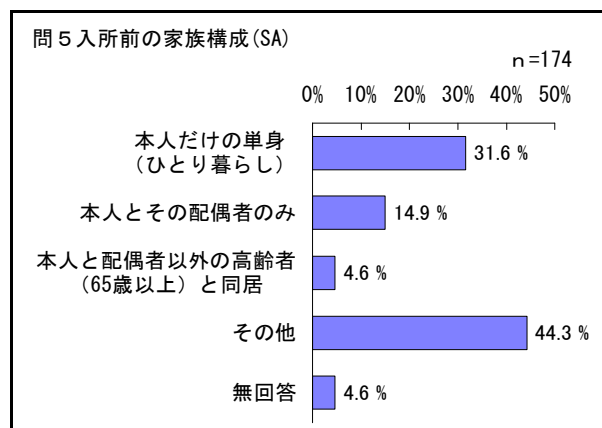
入所した理由についてみると、「家族による介護ができないため」が74.1%と最も多くなっています。

「その他」では、「転院・転所が必要になった」、「1人での生活が困難になった」などがあげられます。



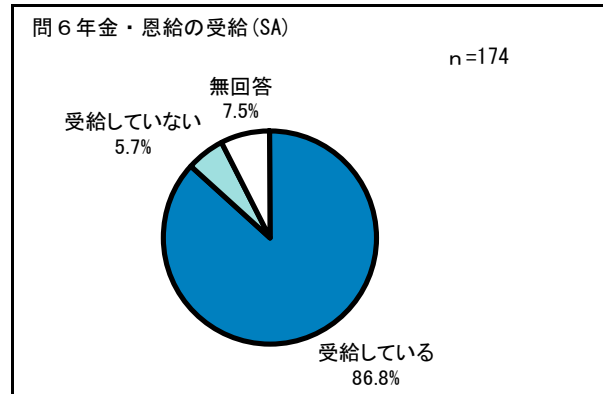
問5 入所（入院）前のご家庭の状況についてうかがいます。[単数回答]

入所前のご家庭の状況についてみると、「その他」が44.3%と最も多く、次いで「本人だけの単身（ひとり暮らし）」が31.6%となっています。



問6 あなたは年金・恩給を受給していますか。[単数回答]

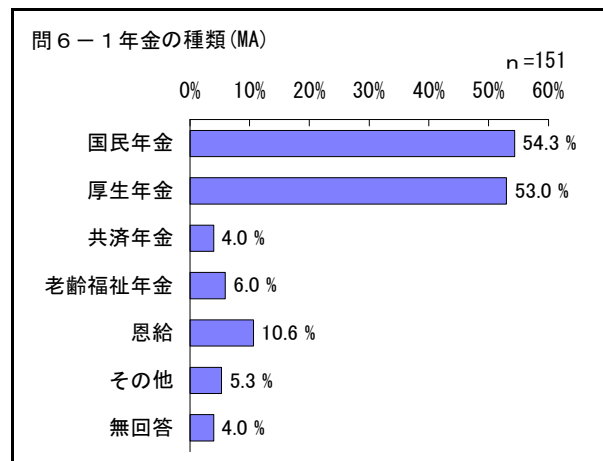
年金・恩給を受給しているかについてみると、「受給している」が86.8%となっています。



問6 「受給している」を選んだ回答者

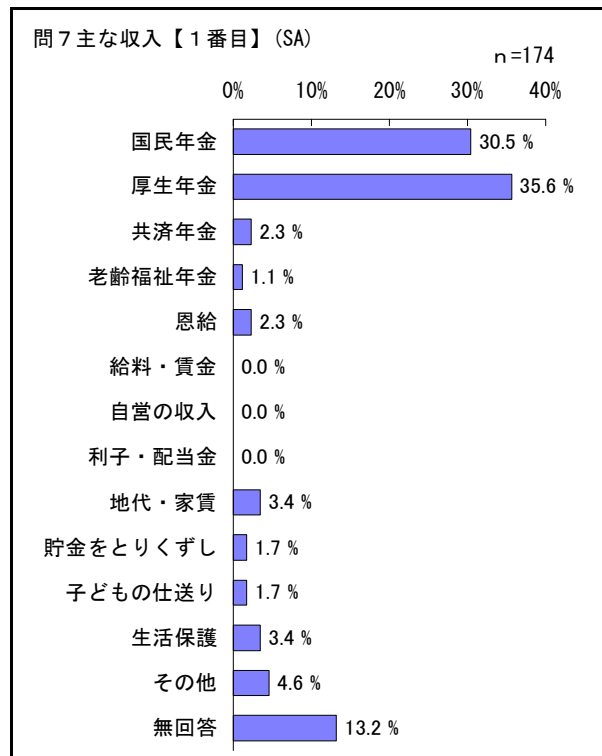
問6-1 あなたの受給している年金の種類は何ですか。[複数回答]

受給している年金の種類は何かについてみると、「国民年金」が54.3%と最も多く、次いで「厚生年金」が53.0%となっています。



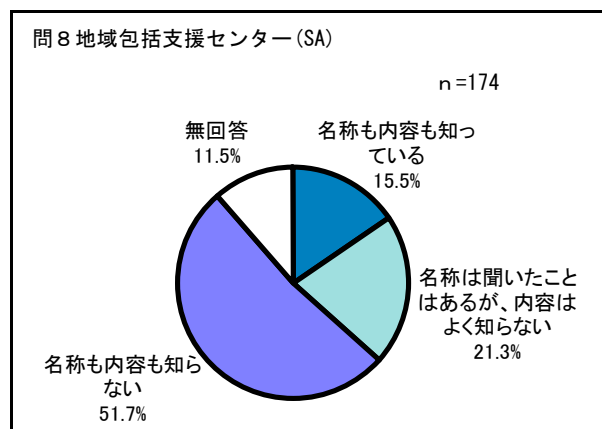
問7 あなたの主な収入は次のうちどれですか。[最も収入額の多いもの]

最も額の高い収入では、「厚生年金」が35.6%で最も多く、次いで「国民年金」が30.5%となっています。



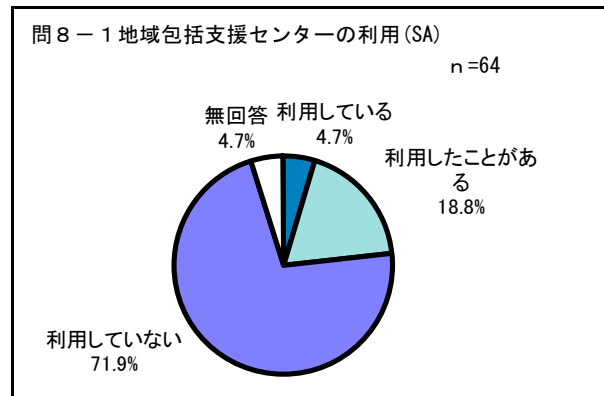
問8 地域にあるさまざまな社会資源（福祉ニーズを充足するために活用される施設、機関、個人、集団、資金、法律、知識、技術等の総称）を使って、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、市が主体となり平成18年度から「地域包括支援センター」が設置されました。ここでは、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等が中心となって、介護予防に関する管理をはじめとする高齢者への総合的な支援が行われていますが、ご存じですか。[単数回答]

「地域包括支援センター」を知っているかについてみると、「名称も内容も知らない」が51.7%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が21.3%となっています。



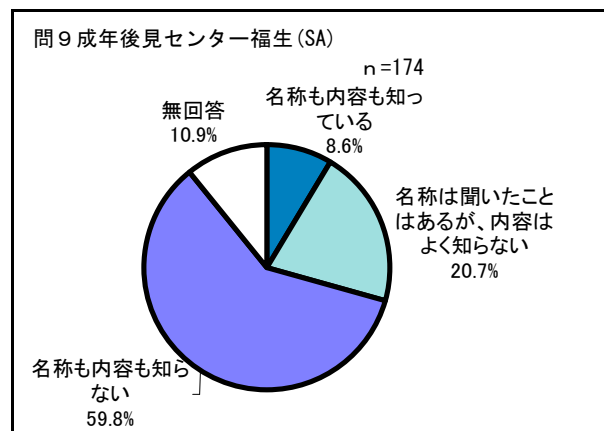
問 8 - 1 相談等で地域包括支援センターを利用していますか(したことがありますか)。[単数回答]

「地域包括支援センター」を利用しているかについてみると、「利用していない」が71.9%と最も多くなっています。



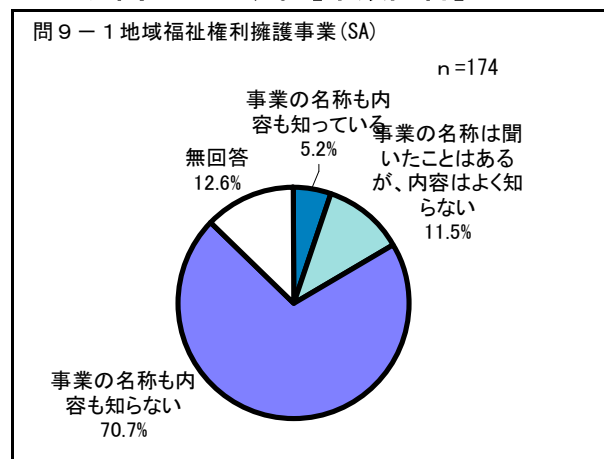
問 9 「成年後見センター福生」では、認知症等判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」(福祉サービス利用援助事業)や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

「成年後見センター福生」の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が59.8%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が20.7%となっています。



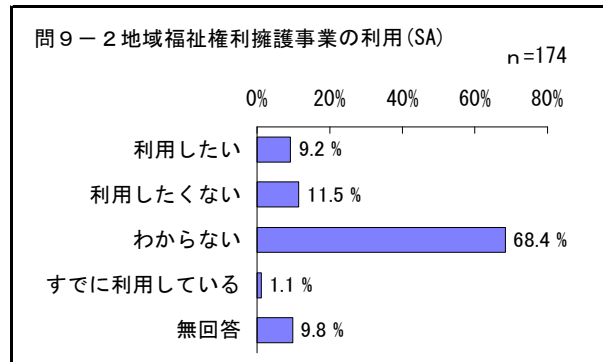
問 9 - 1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」を知っているかについてみると、「事業の名称も内容も知らない」が70.7%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が11.5%となっています。



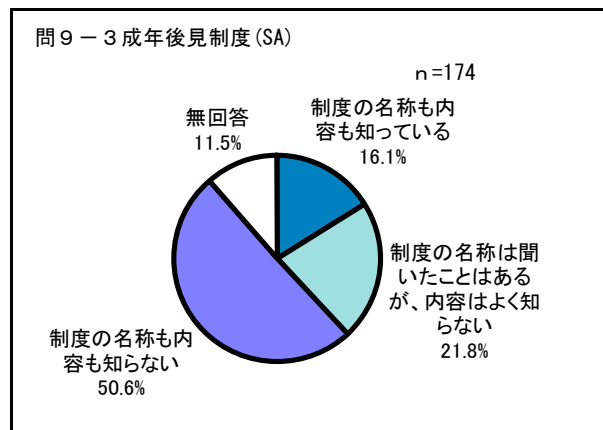
問 9-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

地域福祉権利擁護事業を利用したいかについてみると、「わからない」が68.4%と最も多くなっており、「利用したい」との回答は約1割です。



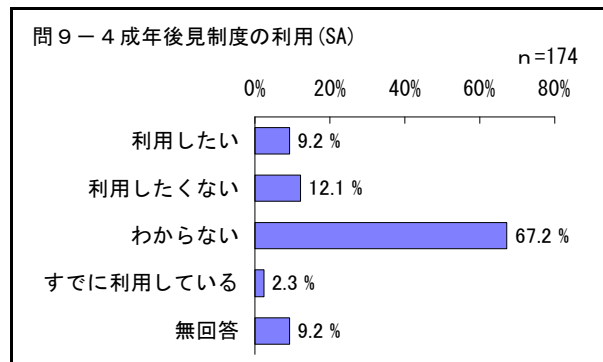
問 9-3 「成年後見制度」についてお聞きします。[単数回答]

成年後見制度を知っているかについてみると、「制度の名称も内容も知らない」が50.6%と最も多く、次いで「制度の名称は聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が21.8%となっています。



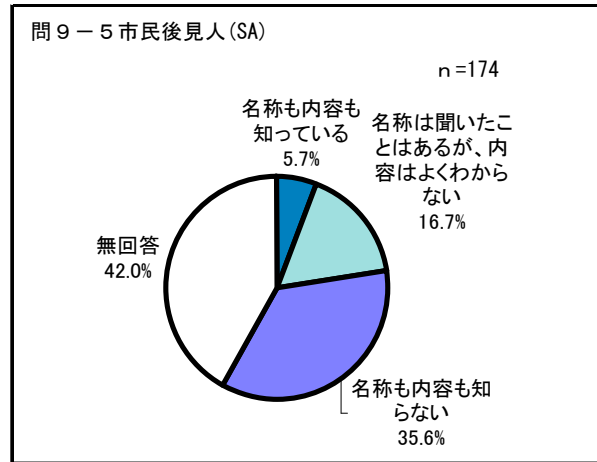
問 9-4 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

成年後見制度を利用したいかについてみると、「わからない」が67.2%と最も多くなっており、「利用したい」との回答は約1割です。



問9-5 「市民後見人」についてお聞きします。[単数回答]

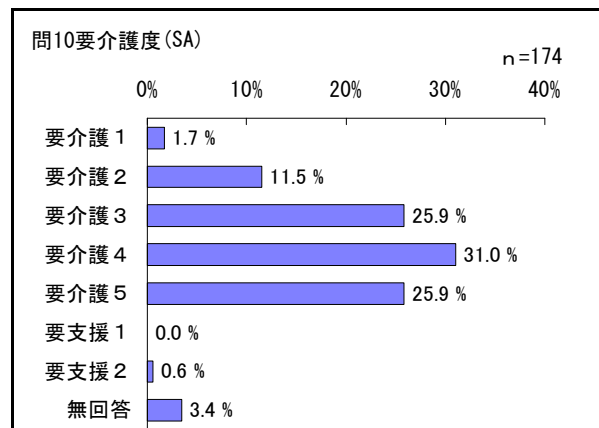
市民後見人についてみると、「名称も内容も知らない」が35.6%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が16.7%となっています。



2. 介護保険の要介護認定と申請について

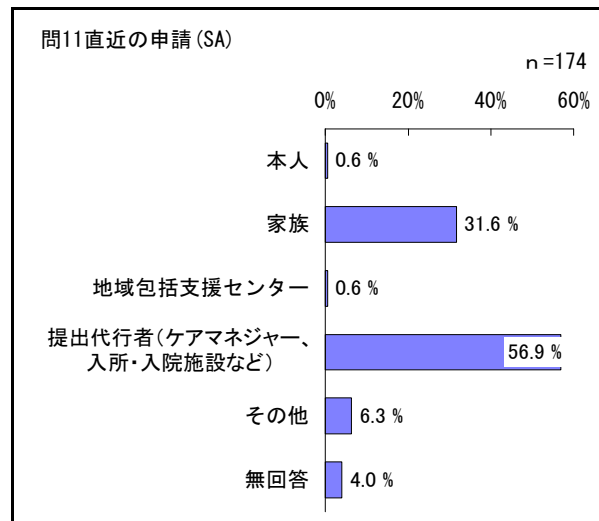
問10 現在認定されている介護度は、次のどれですか。[単数回答]

介護度についてみると、「要介護4」が31.0%と最も多く、次いで「要介護3」、「要介護5」がそれぞれ25.9%となっています。



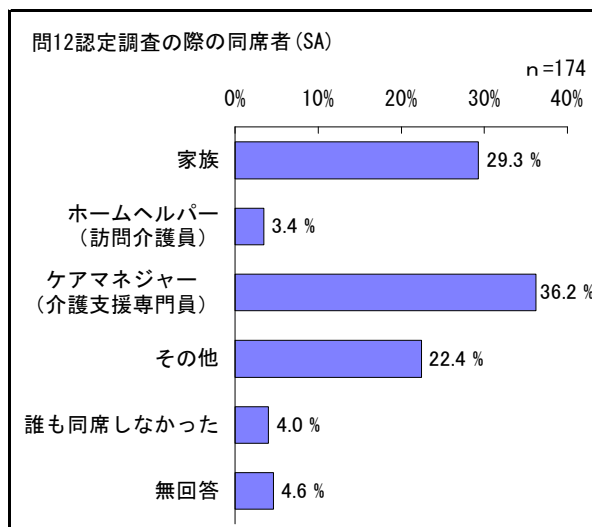
問11 直近の申請は誰が行いましたか。[単数回答]

申請は誰が行ったかについてみると、「提出代行者（ケアマネジャー、入所・入院施設など）」が56.9%と最も多く、次いで「家族」が31.6%となっています。



問12 認定調査の際、誰が同席しましたか。[単数回答]

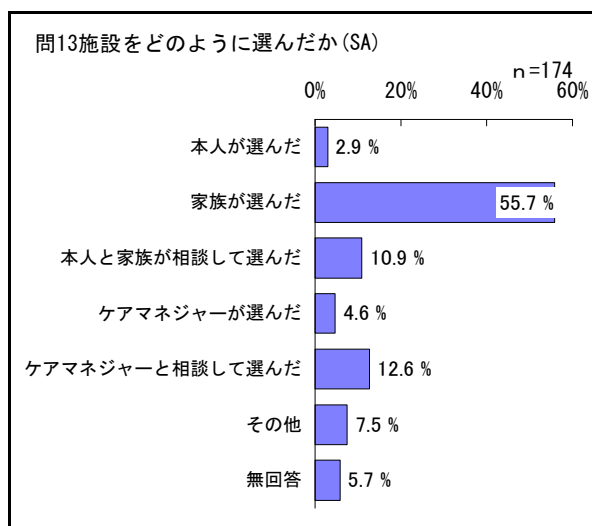
認定調査の際、誰が同席したかについてみると、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が36.2%と最も多く、次いで「家族」が29.3%となっています。



3. 介護サービスについて

問13 入所（入院）している施設をどのように選びましたか。[単数回答]

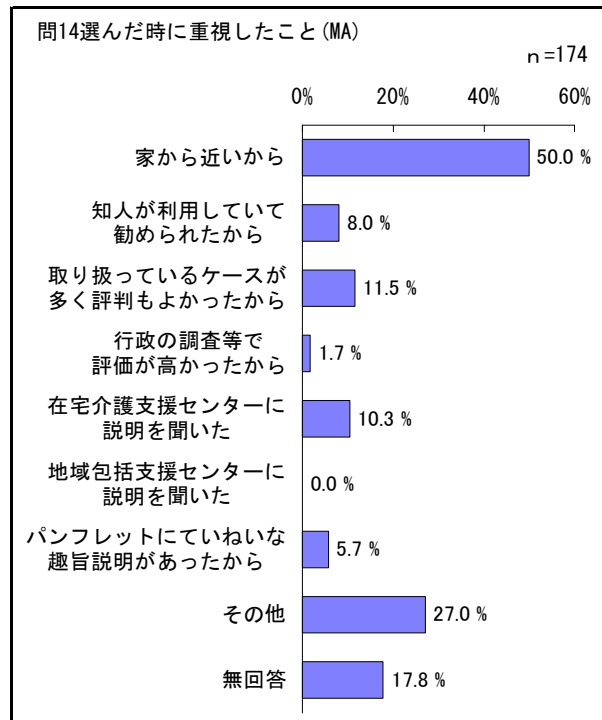
施設をどのように選んだかについてみると、「家族が選んだ」が55.7%と最も多く、次いで「ケアマネジャーと相談して選んだ」が12.6%となっています。



問 14 施設を選んだ時に重視したことは何ですか。[複数回答]

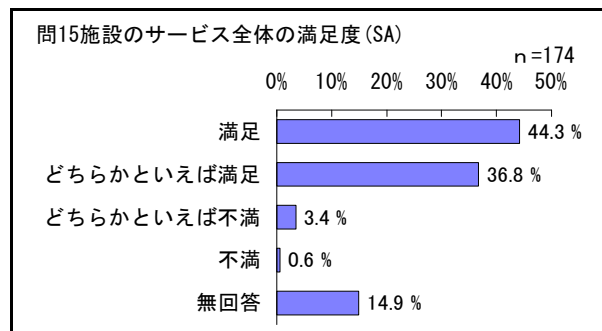
施設を選んだ時に重視したことについてみると、「家から近いから」が 50.0%と最も多く、次いで「その他」が 27.0%となっています。

「その他」の回答では、「ケアマネジャーに紹介を受けた」、「一番先に受け入れてくれた、他に施設がなかった」などがあげられます。



問 15 現在、入所・入院している施設のサービス全体の満足度についてうかがいます。[単数回答]

満足度についてみると、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は8割を超えています。「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は 4.0%です。

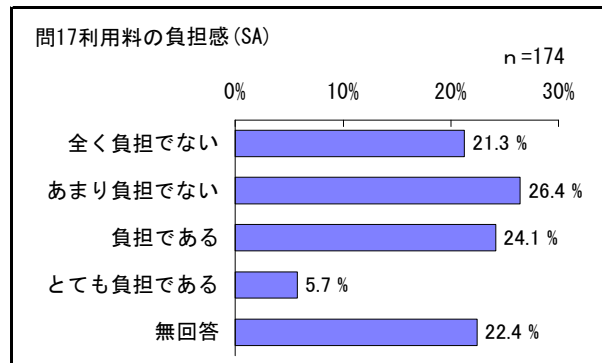


問 16 現在利用している施設に対する改善点・要望がありましたら自由にお書きください。[自由記入]

- ・日中ホールで座っていることが多く、楽しい活動が少ない。転倒するリスクが高いことでかなり神経質になっており、本人の歩行能力を低下させている。
- ・面会時間の終了時間が早い。
- ・やはり手が足りないのですが、欲を言えばもう少しきめ細かく気をつけていただけたらと思います。
- ・施設には頻繁に行ってます。親切・丁寧に本人に接していただいています。感謝しています。
- ・食事の質をもう少し良くしてほしい。看護師さん、ワーカーさんの精神面での質の向上。
- ・もっとリハビリの時間を増やしてほしい。
- ・見舞いに行く時、リハビリしている部屋を通らなければならないので、改善してほしい。
- ・4人部屋なので個室が望ましいが、利用料が心配（高くなる）。
- ・スタッフの人数が増えたら（経営的な面はありますが）、入所者も働く人もゆとりができ、ケアの質や量もよくなるのではと思います。
- ・施設の制度上、家族の要望がかなわないことがある。例：常用していた薬が減らされる。外泊が希望どおりにならない。
- ・入所料金が高額である。
- ・特養施設に入れない限り、約1年で次の施設を探さなくてはなりません。もう少し長くいられるような行政になれば、母も落ち着けるし家族も安心できます。
- ・施設ケアマネと家族との相性が悪い。ケアマネジャーの態度に疑問。専門用語が多く、家族にはわかりにくい。相談員とケアマネの違いがはっきりしていない。
- ・日の出中央病院に入院しているが、福生市内にも同様な施設がほしい。
- ・介護ヘルパーの入所者に対する対応に開きがある。
- ・本人の状態をあまり考えず、医学的根拠なしに軽度と決めつけ無理をさせている点がある。職員に暴言をはかれ、家族から注意したが、もし本人が独り身で身内がない場合、そのままかエスカレートするおそれがあると感じた。現在を非を認め、あらためた様子。
- ・私物がなくなった。
- ・入所者との接点を多くしてほしい。
- ・隣の人がうるさい等の生活面。
- ・老人保健施設にいますが、家賃収入だけでは少々無理です。特別老人ホームに早く入所できればと毎日不安です。
- ・改善点や要望は山ほどある。それを言ったところで変わるとは思えない。福祉現場の質の低さを改めて知ることになった。高齢者（高齢者になれば）モノ扱い。これでは介護職員の待遇改善など必要ない。

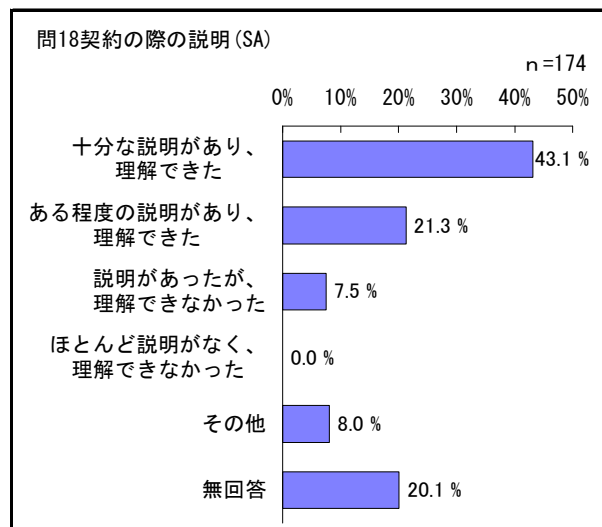
問 17 現在あなたが支払う利用料の負担感についてうかがいます。[単数回答]

利用料の負担感についてみると、「負担である」と「とても負担である」を合わせた『負担』を感じているとの回答は約3割となっています。



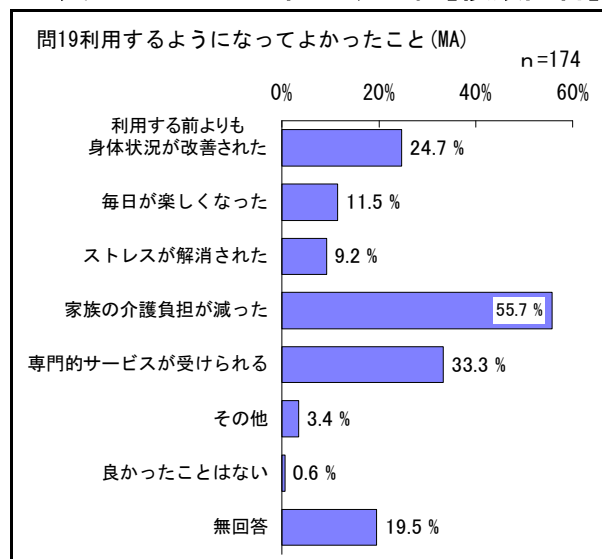
問 18 施設サービスの利用にあたり、契約をすることになっていますが、契約の際説明がありましたか。[単数回答]

契約の際説明があったかについてみると、「十分な説明があり、理解できた」が43.1%と最も多くなっています。「説明があったが理解できなかった」は7.5%となっています。



問 19 施設サービスを利用するようになって良かったことは何ですか。[複数回答]

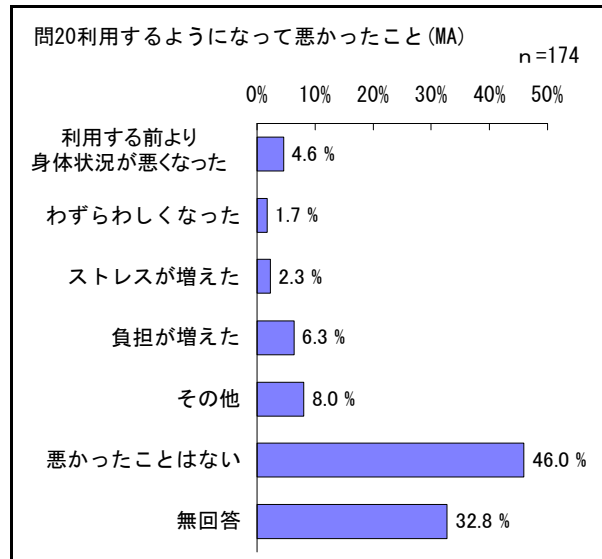
施設サービスを利用するようになって良かったことについてみると、「家族の介護負担が減った」が55.7%と最も多く、次いで「専門的サービスが受けられる」が33.3%となっています。



問 20 施設サービスを利用するようになって悪かったことはありますか。
[複数回答]

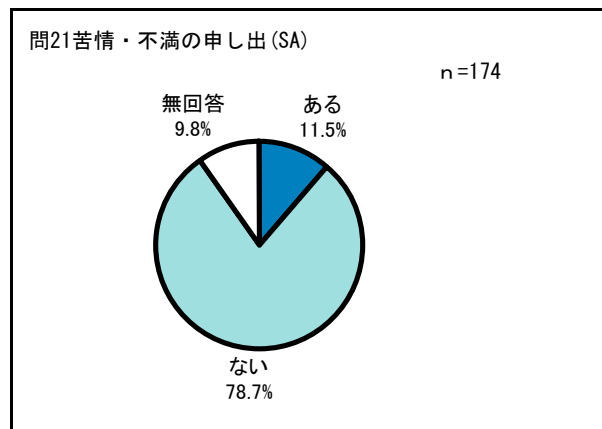
施設サービスを利用するようになって悪かったことについてみると、「悪かったことはない」が46.0%と最も多くなっていますが、『悪かったことがある』との回答の中では「その他」が8.0%、「負担が増えた」が6.3%などが目立ちます。

その他では、「共同生活上のトラブル」などがあります。



問 21 施設サービスを利用してから苦情・不満を申し出たことはありますか。
[単数回答]

苦情・不満を申し出たことはあるかについてみると、「ある」と回答した人は全体の11.5%となっています。



問 21 「ある」を選んだ回答者

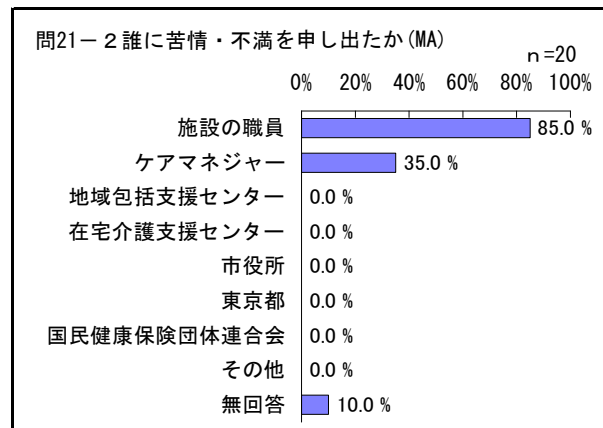
問 21-1 さしつかえなければ、苦情・不満の内容をご記入ください。

- ・入れ歯を入れてほしい。センサーのついた椅子はやめてほしい。
- ・(パーキンソン病の薬を服用中) 朝、昼、夕のほかに、体調に合わせて様子を見ながら服用する薬もあり、入所前より薬の管理は本人がやっているのに、ケアマネが変わったら薬を取り上げる(その都度渡す)…とのことで。精神的にダメージを受け、回復するのに3か月位かかりました。今は自分で管理。
- ・心ない言葉を言われた。
- ・介護の際骨折をしてしまったこと。今後も病院にお世話になること、本人も高齢で骨も弱かったこともあり、医師の説明で了承した。
- ・認知症による不穏行動、暴言暴力行為が頻回であった(入所時)。職員、他の入所者へ。精神科受診、服薬調整実施した既往あり。
- ・認知症状強度、職員、他利用者への暴言は日常的にある。食事席は他の利用者から離れ一人席で対応。
- ・認知症で本人が被害妄想がひどかった頃、家族や知らない人まで電話をかけまくり困り、その後電話を取り外した。その困ったときのことがケアプランには取り上げられなかったこと。
- ・介護同伴中(買い物同伴)に付き添ったケアの女子職員から、大勢の前で聞こえよがしに私の瘦身(やせてる)をあざ笑うように言われて、大変恥ずかしい思いをしたので、ケアセンターの最高責任者に訴えた。
- ・「アレをしてはダメ、コレもダメ」と施設の都合を優先しており、利用者のことなど考えていない。特に食事など時間がかかるにもかかわらず時間で片付けてしまうので食べられない。やせてきた。ストレスが多い。無口になった。日用品代を取っているのにティッシュは家族が負担する。言葉遣いは丁寧だが実はほとんどなく怖いところ。
- ・施設の職員が足りないように思います。大変な仕事ですし、人間相手ですから、もっと給料が増え、職員数が増えれば良いと思います。

問 21 「ある」を選んだ回答者

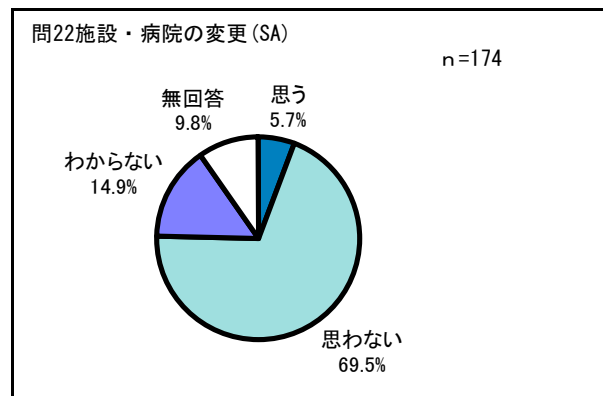
問 21-2 誰に苦情・不満を申し出ましたか。[複数回答]

誰に苦情・不満を申し出たかについてみると、「施設の職員」が 85.0%、次いで「ケアマネジャー」がそれぞれ 35.0% となっています。



問 22 今後、現在利用している施設・病院を変更したいと思いますか。[単数回答]

現在利用している施設・病院を変更したいと思うかについてみると、「思わない」が 69.5%と最も多くなっています。

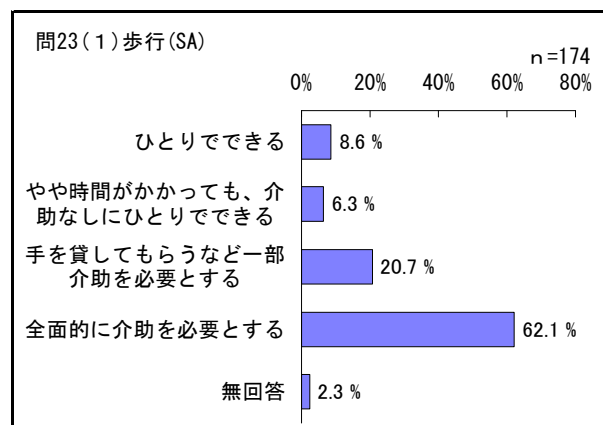


4. 本人の身体や介護の状況について

問 23 あなたの日常生活動作についてうかがいます。[単数回答]

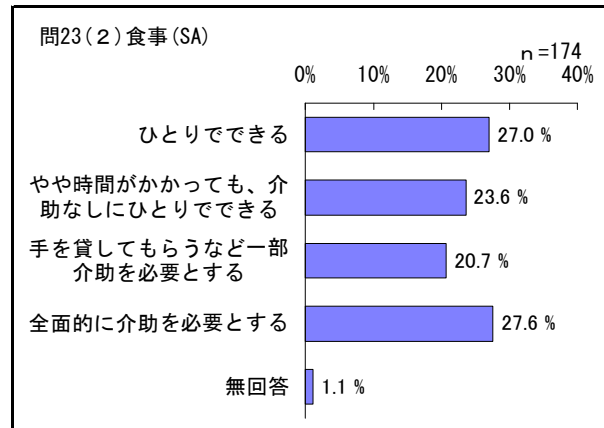
(1) 歩行はひとりでできますか。つえや歩行器などを使用しない場合でお答えください。

歩行はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が 62.1%と最も多く、次いで「手を貸してもらうなど一部介助を必要とする」が 20.7%となっています。



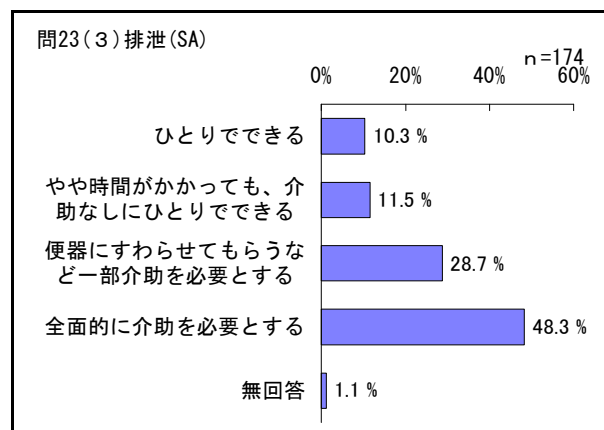
(2) 食事はひとりでできますか。自助具（補助する器具）などを使用している方は、使用した場合でお答えください。

食事はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が27.6%と最も多く、次いで「ひとりでできる」が27.0%となっています。



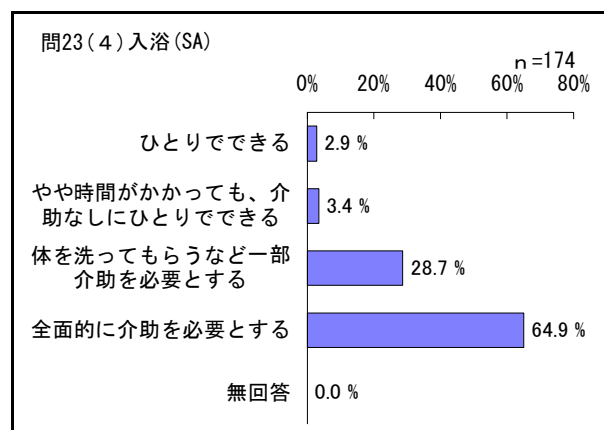
(3) 排泄はひとりでできますか。つえ・便器などを使用している方は、使用した場合でお答えください。

排泄はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が48.3%と最も多く、次いで「便器にすわらせてもらうなど一部介助を必要とする」が28.7%となっています。



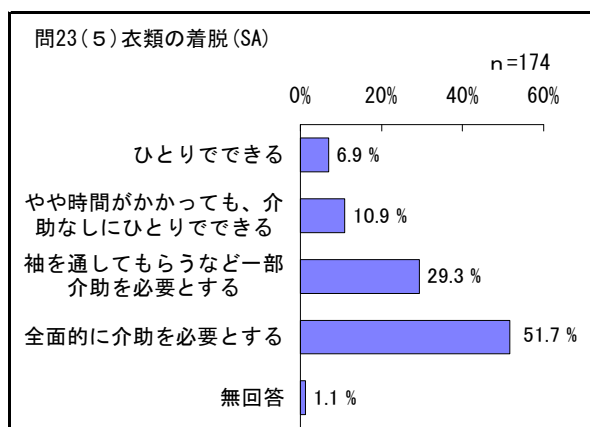
(4) 入浴はひとりでできますか。

入浴はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が64.9%と最も多く、次いで「体を洗ってもらうなど一部介助を必要とする」が28.7%となっています。



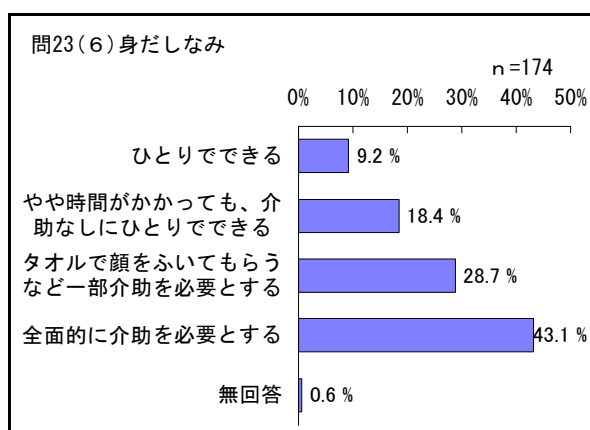
(5) 衣類の着脱はひとりでできますか。

衣類の着脱はひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が51.7%と最も多く、次いで「袖を通してもらうなど一部介助を必要とする」が29.3%となっています。



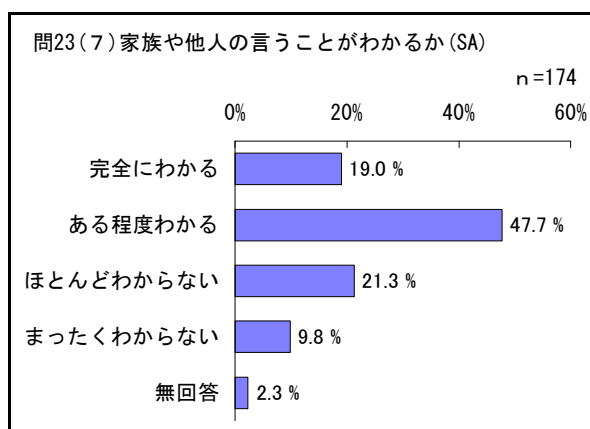
(6) 洗顔、歯みがき、整髪などの身だしなみについてはひとりでできますか。

洗顔、歯みがき、整髪などの身だしなみはひとりでできるかについてみると、「全面的に介助を必要とする」が43.1%と最も多く、次いで「タオルで顔をふいてもらうなど一部介助を必要とする」が28.7%となっています。



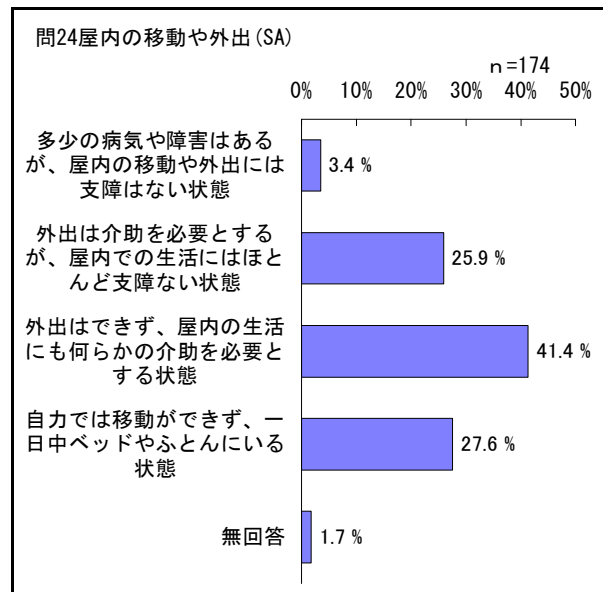
(7) 家族や他人の言うことが本人にわかりますか。

本人にわかるかについてみると、「ある程度わかる」が47.7%と最も多く、次いで「ほとんどわからない」が21.3%となっています。



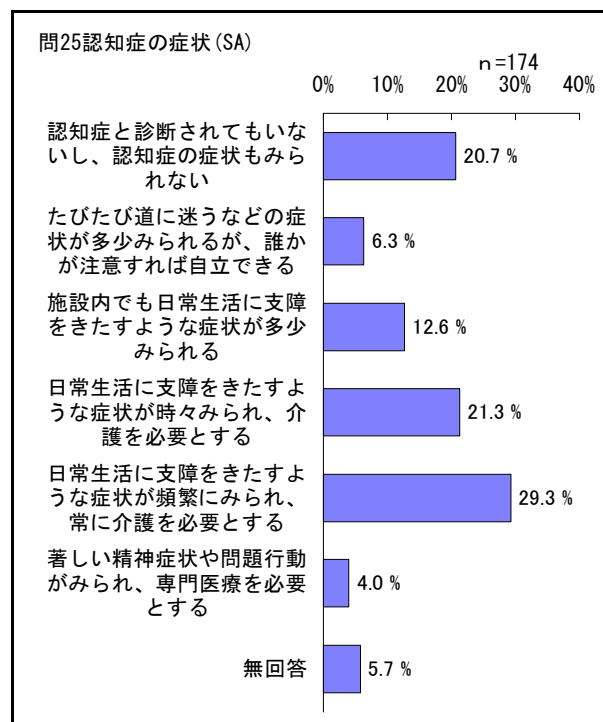
問 24 屋内の移動や外出はどのような状態ですか。[単数回答]

外出の状態についてみると、「外出はできず、屋内の生活にも何らかの介助を必要とする状態」が41.4%と最も多く、次いで「自力では移動ができず、一日中ベッドやふとんにいる状態」が27.6%となっています。



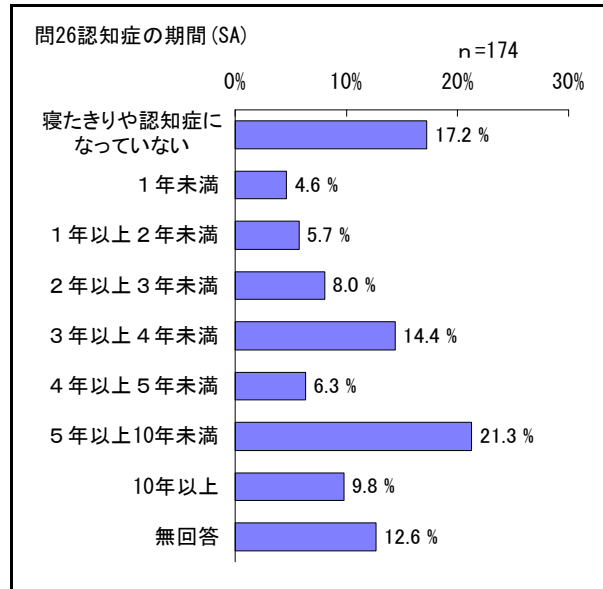
問 25 本人が、医師より認知症と診断されている場合や家族（施設職員）からみて認知症と思われる場合、認知症の症状はどの程度ですか。[単数回答]

認知症の症状についてみると、「日常生活に支障をきたすような症状が頻繁にみられ、常に介護を必要とする」が29.3%と最も多く、次いで「日常生活に支障をきたすような症状が時々みられ、介護を必要とする」が21.3%となっています。



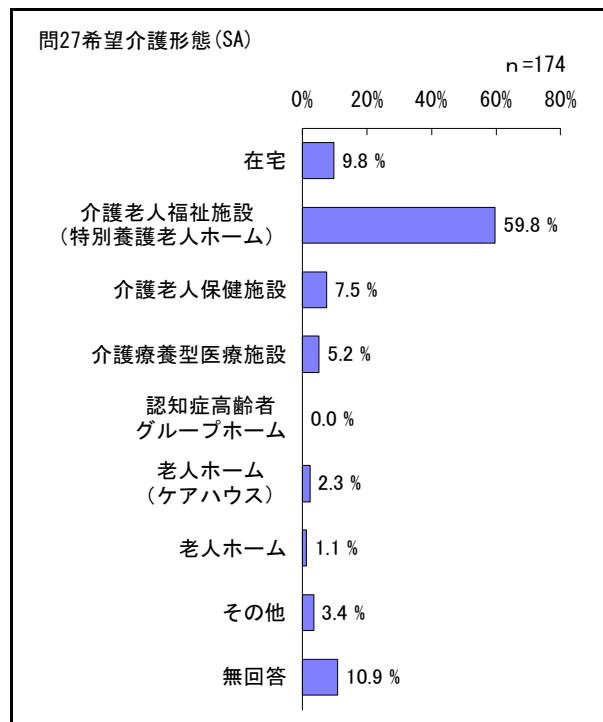
問 26 寝たきりや認知症になられている場合、どのくらいたちますか。[単数回答]

寝たきりや認知症になられた年数についてみると、「寝たきりや認知症になっていない」が17.2%と最も多くなっていますが、寝たきりや認知症の期間があるとする回答では「5年以上 10年未満」が21.3%となっているのが目立ちます。



問 27 本人の希望として、今後、どこで介護を受けたいとお考えですか。[単数回答]

今後どこで介護を受けたいかについてみると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が59.8%と最も多く、次いで「在宅」が9.8%となっています。



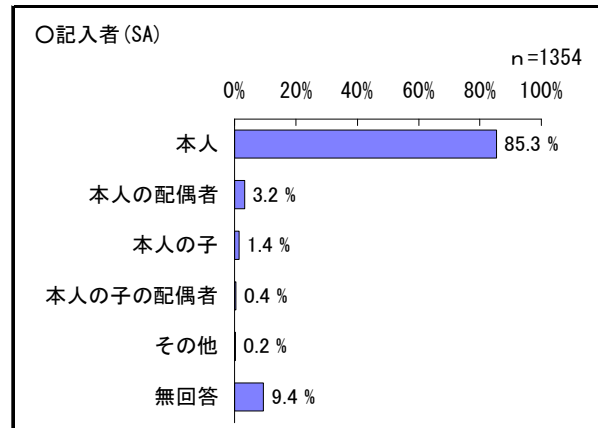
V

一般高齢者

回答者の属性		(単位：人)
性別	男	738
	女	588
	無回答	28
年齢	65-69 歳	410
	70-74 歳	400
	75-79 歳	273
	80-84 歳	187
	85 歳以上	78
	無回答	6

○調査票記入者【単数回答】

記入者についてみると、「本人」が8割を超えています。



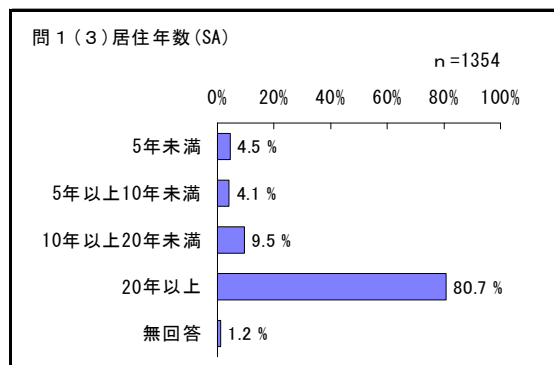
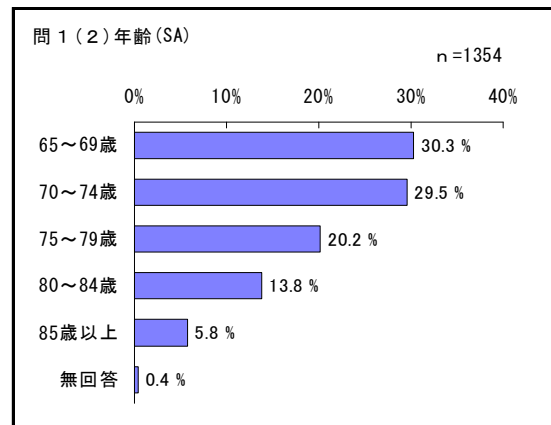
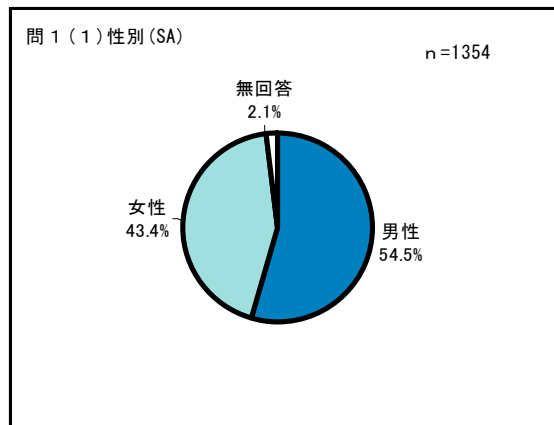
1. ご本人のことについて

問1 あなたの性別、年齢、居住年数についてうかがいます。

(1) 性別、(2) 年齢、(3) 福生市での居住年数【単数回答】

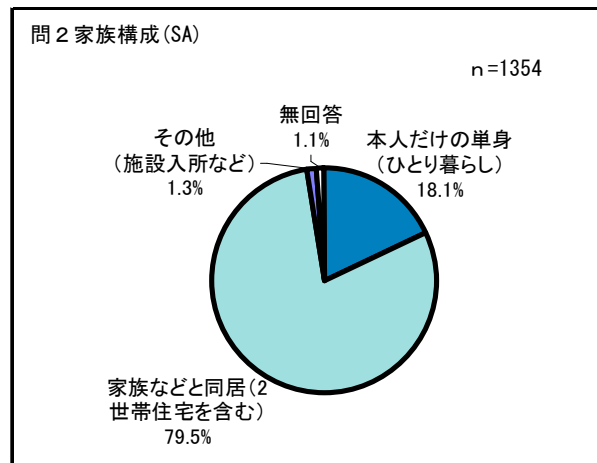
性別についてみると、「男性」が54.5%となっています。年齢についてみると、年齢が低くなるにつれ割合は多くなっています。

福生市での居住年数についてみると、「20年以上」が約8割を占めています。



問2 家族構成を教えてください。[単数回答]

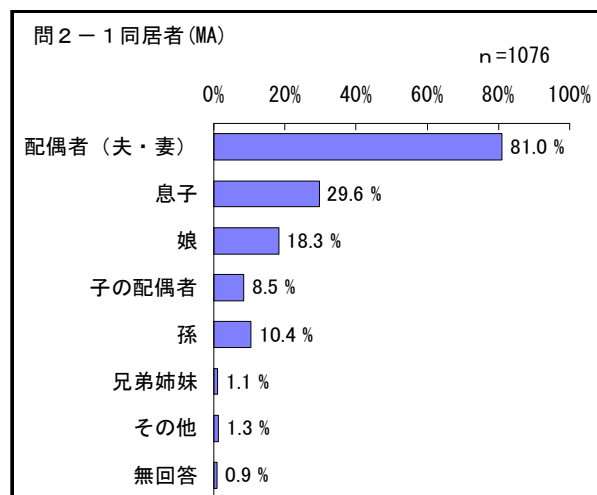
家族についてみると、「家族などと同居」が79.5%と最も多く、次いで「本人だけの単身（ひとり暮らし）」が18.1%となっています。



問2 「家族などと同居」を選んだ回答者

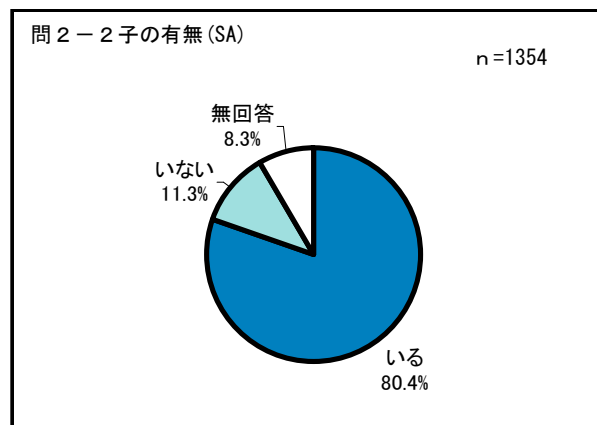
問2-1 同居されている方はどなたですか。[複数回答]

同居者についてみると、「配偶者（夫・妻）」が81.0%と最も多く、次いで「息子」が29.6%となっています。



問2-2 お子さんはいますか。[単数回答]

お子さんの有無についてみると、「いる」が8割を占めています。



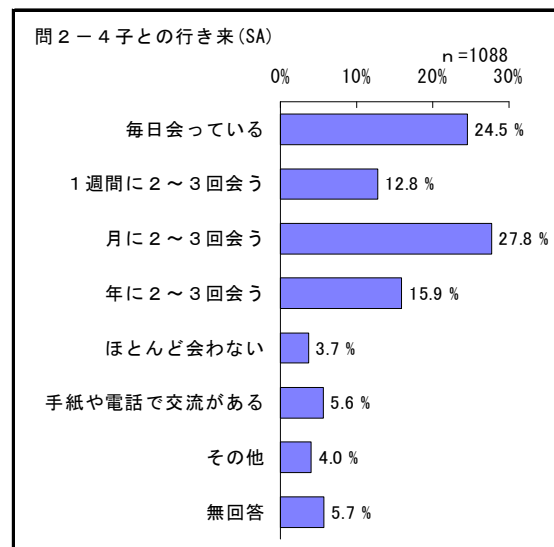
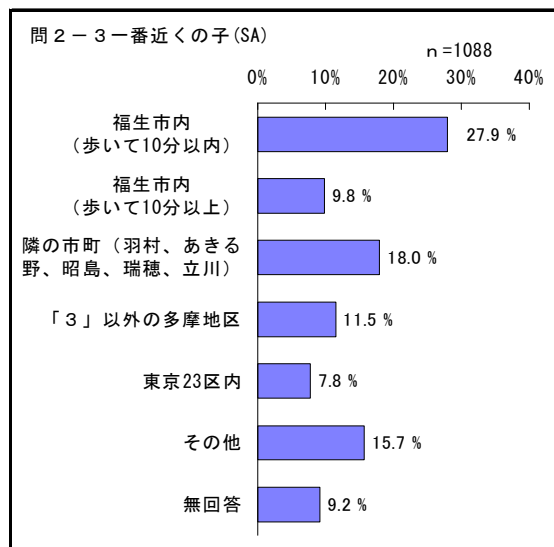
問 2-2 「いる」を選んだ回答者

問 2-2 一番近くにいるお子さんはどこに住んでいますか。[単数回答]

問 2-3 お子さんとはどの程度行き来がありますか。[単数回答]

一番近くにいるお子さんのお住まいの地区についてみると、「福生市内（歩いて 10 分以内）」が 27.9%と最も多く、次いで「隣の市町（羽村、あきる野、昭島、瑞穂、立川）」が 18.0%となっています。

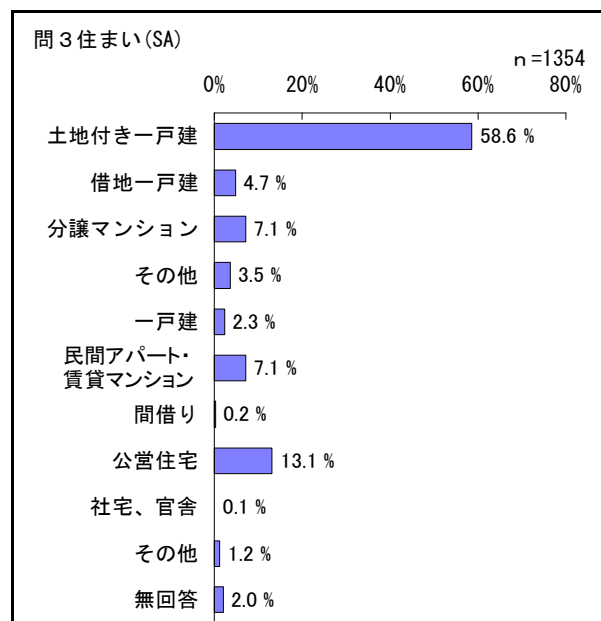
行き来の程度についてみると、「月に 2～3 回会う」が 27.8%と最も多く、次いで「毎日会っている」が 24.5%となっています。



2. 住まいと収入について

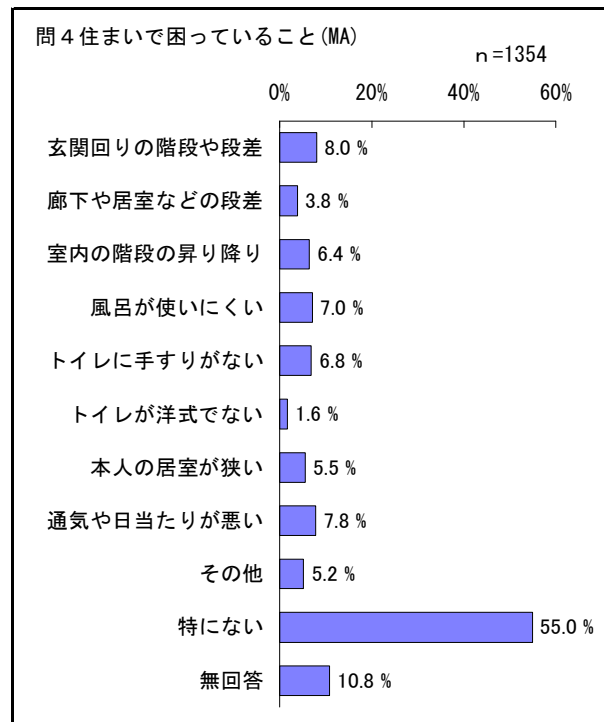
問 3 あなたのお住まいは次のどれですか。[単数回答]

住まいについてみると、「土地付き一戸建」が 58.6%と最も多くなっています。



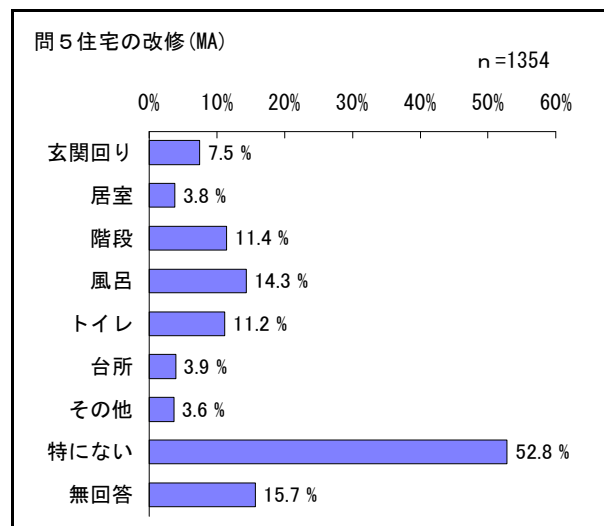
問4 現在、お住まいで困っていることは何ですか。[複数回答]

困っていることについてみると、「特にない」が55.0%と最も多くなっていますが、『困っていることがある』との回答の中では「玄関周りの階段や段差」(8.0%)、「通気や日当たりが悪い」(7.8%)などの回答が高くなっています。



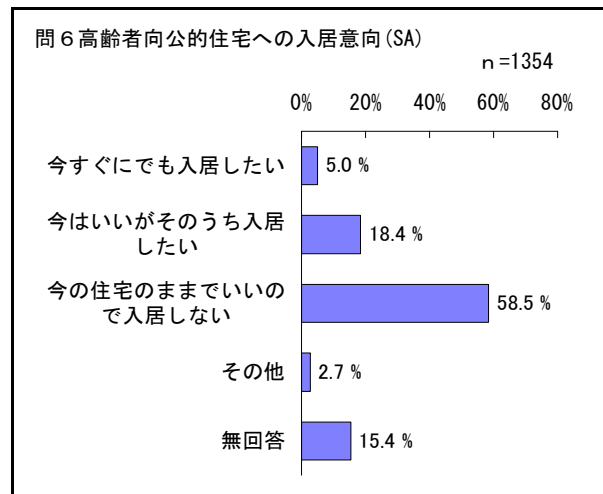
問5 身体の不自由さを補ったり、将来に備えて手すりをつけたり、段差をなくすなど住宅の改修を考えていますか。[複数回答]

住宅の改修を考えているかについてみると、「特にない」が52.8%と最も多くなっていますが、『改修を考えている箇所』としては、「風呂」(14.3%)、「階段」(11.4%)、「トイレ」(11.2%)となっています。



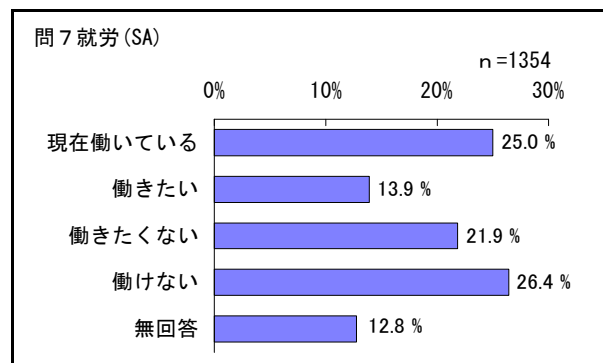
問6 高齢者の生活に配慮した公的住宅に入居したいと思いますか。[単数回答]

公的住宅に入居したいと思うかについてみると、「今の住宅のままでいいので入居しない」が58.5%と最も多くなっています。



問7 あなたは現在働いていますか。また、今後適当な仕事があれば働きたいと思えますか。[単数回答]

就労状況と今後についてみると、「働けない」が26.4%と最も多く、次いで「現在働いている」が25.0%となっています。



■年齢別×就労状況と今後

就労状況と今後について年齢別でみると、65～69歳では41.5%が、また、70～74歳でも25.8%が就労しているとの回答があります。また、この65歳から74歳では、「働きたい」とする回答が約2割となっています。

しかし、75歳以上になると、「働けない」とする回答割合が4割を超えて多くなっています。

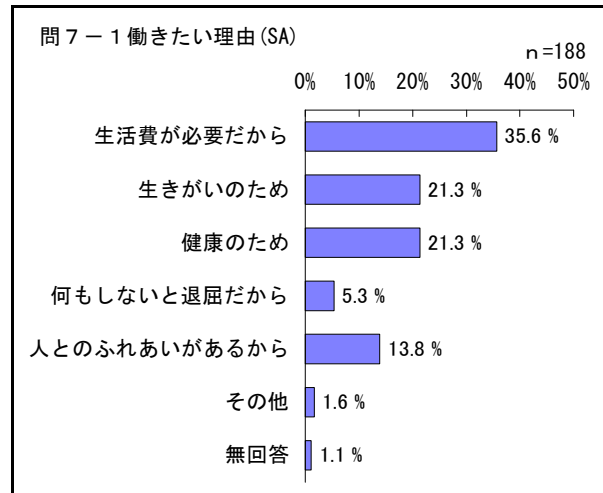
(単位: %)

	全体 (人)	現在 働いて いる	働 きたい	働 きた くない	働 け ない	無 回 答
合計	1354	25.0	13.9	21.9	26.4	12.8
65～69歳	410	41.5	18.3	22.7	8.8	8.8
70～74歳	400	25.8	16.8	26.8	22.3	8.5
75～79歳	273	11.4	12.5	19.8	40.3	16.1
80～84歳	187	13.4	5.9	17.6	41.7	21.4
85歳以上	78	10.3	1.3	10.3	56.4	21.8

問7 「働きたい」を選んだ回答者

問7-1 その主な理由は何ですか。[単数回答]

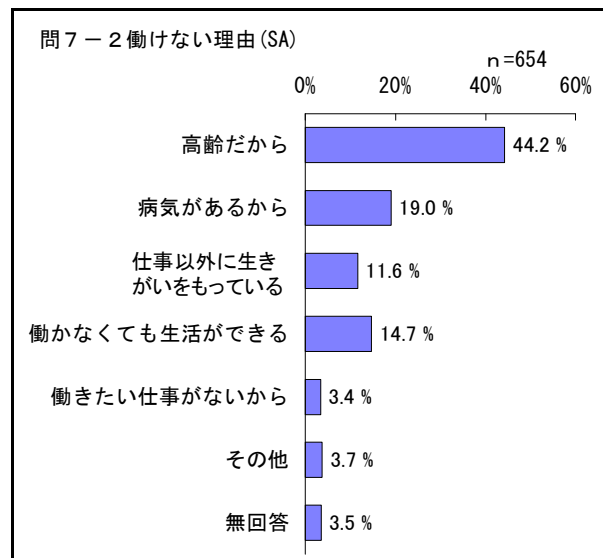
主な理由についてみると、「生活費が必要だから」が35.6%と最も多く、次いで「生きがいのため」、「健康のため」がそれぞれ21.3%となっています。



問7 「働きたくない」、「働けない」を選んだ回答者

問7-2 その主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「高齢だから」が44.2%と最も多く、次いで「病気があるから」が19.0%となっています。

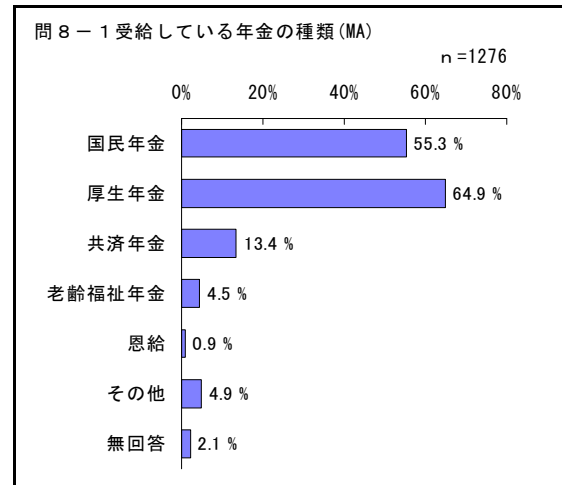
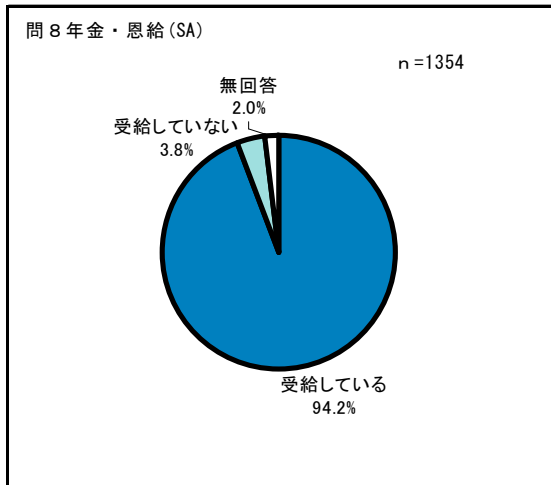


問8 あなたは年金・恩給を受給していますか。[単数回答]

問8-1 あなたの受給している年金の種類は何ですか。[複数回答]

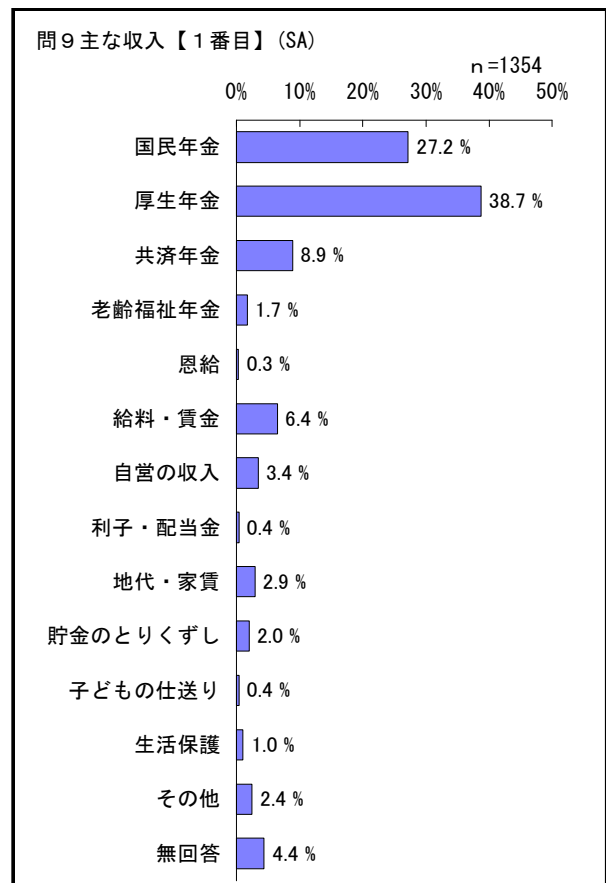
年金・恩給の受給についてみると、「受給している」が94.2%となっています。

受給している年金の種類についてみると、「厚生年金」が64.9%と最も多く、次いで「国民年金」が55.3%となっています。



問9 あなたの主な収入は次のうちどれですか。[最も収入額の多いもの]

最も収入額の多いものとして、「厚生年金」が38.7%と最も多く、次いで「国民年金」が27.2%となっています。

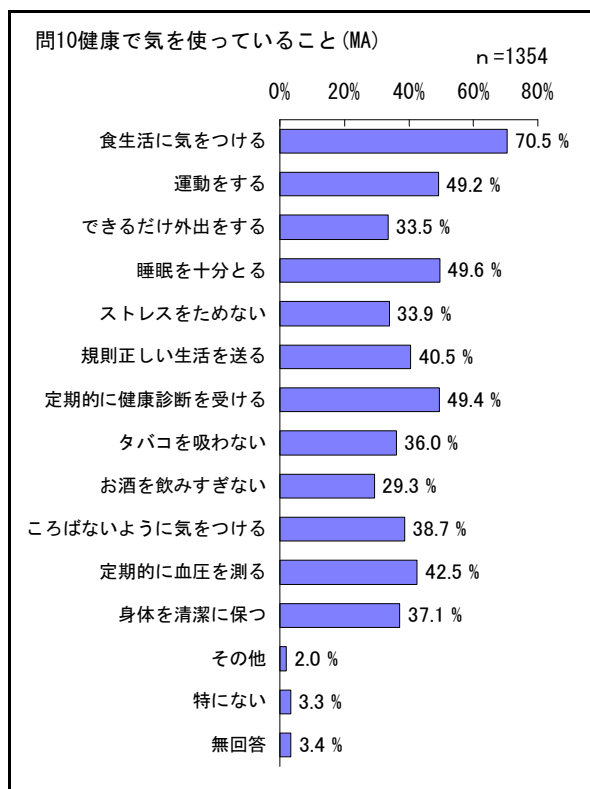


3. 本人の健康状態などについて

問10 あなたは、普段、健康についてどのようなことに気を使っていますか。

[複数回答]

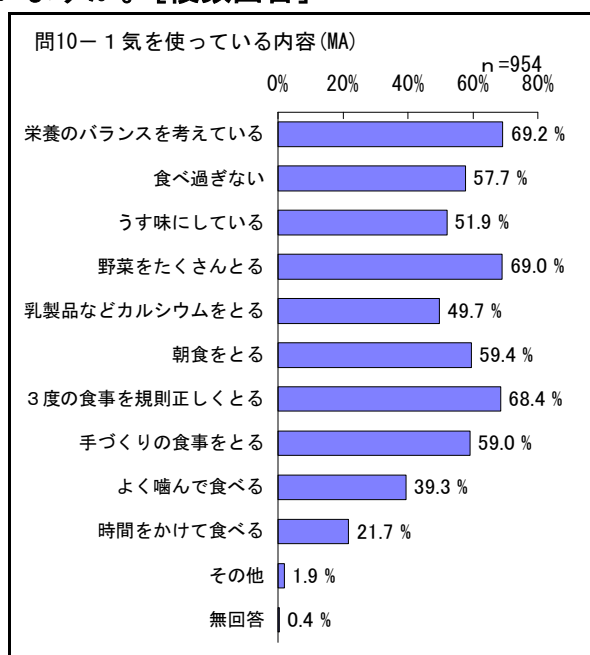
健康に気をつけていることについてみると、「食生活に気をつける」が70.5%と最も多く、次いで「睡眠を十分とる」(49.6%)、「定期的に健康診断を受ける」(49.4%)、「運動をする」(49.2%)などが続いています。



問10 「食生活に気をつける」を選んだ回答者

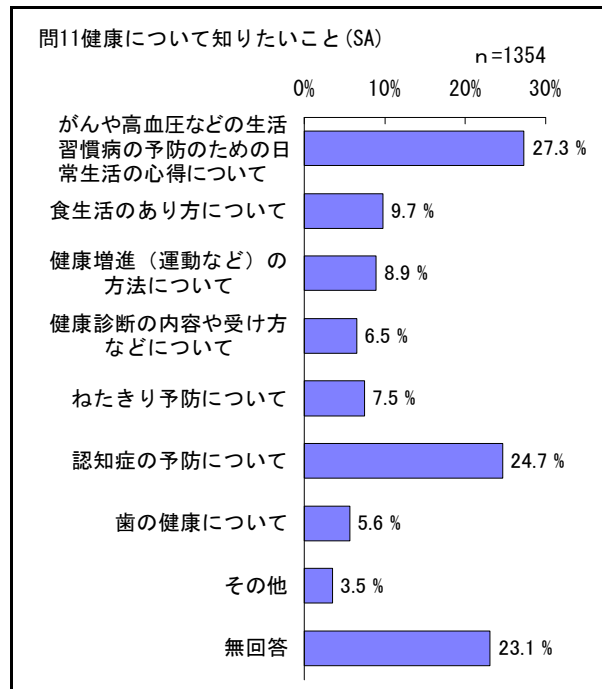
問10-1 どのようなことに気を使っていますか。[複数回答]

食生活に気を使っていることについてみると、「栄養のバランスを考えている」が69.2%と最も多く、次いで「野菜をたくさんとる」が69.0%、「3度の食事を規則正しくとる」が68.4%などとなっています。



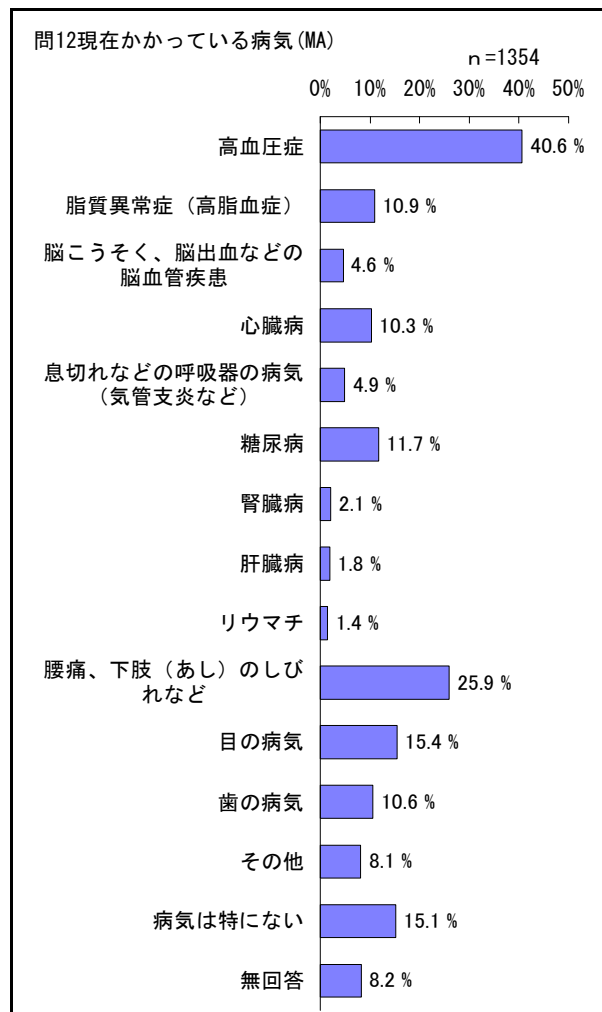
問 11 健康について知りたいことは何ですか。[単数回答]

健康について知りたいことについてみると、「がんや高血圧などの生活習慣病の予防のための日常生活の心得について」が27.3%と最も多く、次いで「認知症の予防について」が24.7%となっています。



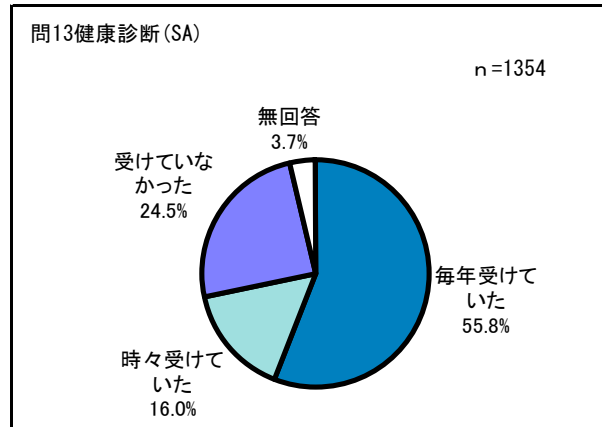
問 12 あなたは、現在病気をお持ちですか。もしあるとすればその病名は何ですか。[複数回答]

現在病気を持っているかについてみると、「高血圧症」が40.6%と最も多く、次いで「腰痛、下肢（あし）のしびれなど」が25.9%となっています。



問 13 市で実施している健康診断を受けていましたか。[単数回答]

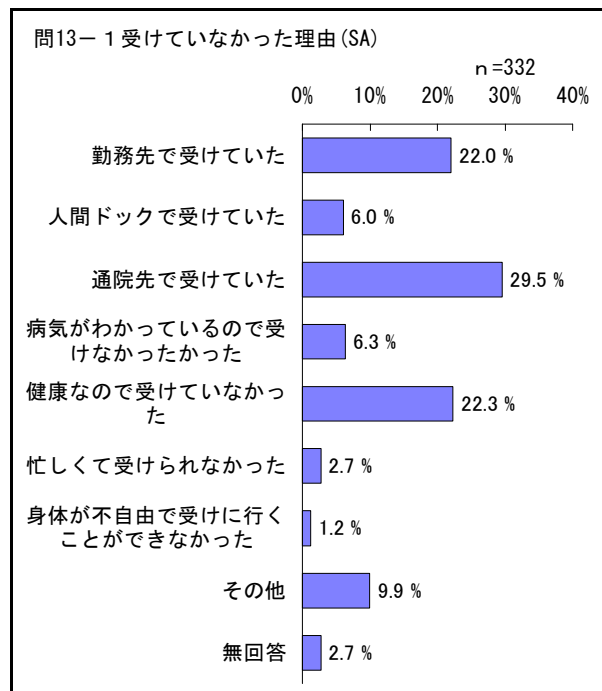
健康診断の受診についてみると、「毎年受けていた」が 55.8%と最も多く、「受けていなかった」との回答は 24.5%となっています。



問 13 「受けていなかった」を選んだ回答者

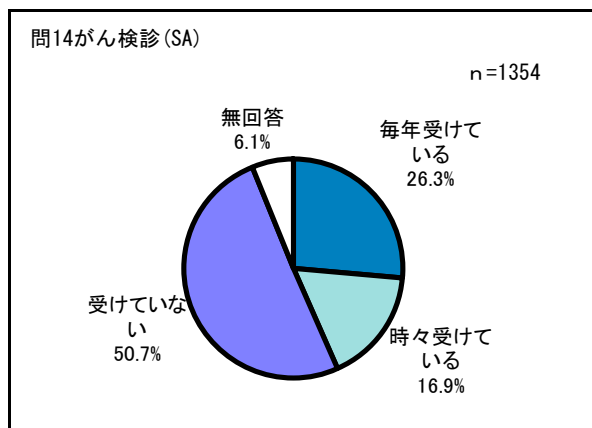
問 13-1 「受けていなかった」主な理由は何ですか。[単数回答]

主な理由についてみると、「通院先で受けていた」が 29.5%と最も多く、次いで「健康なので受けていなかった」が 22.3%、「勤務先で受けていた」が 22.0%となっています。



問 14 市で実施しているがん検診（大腸・胃・肺・乳・子宮・口腔・前立腺）を受けていますか。[単数回答]

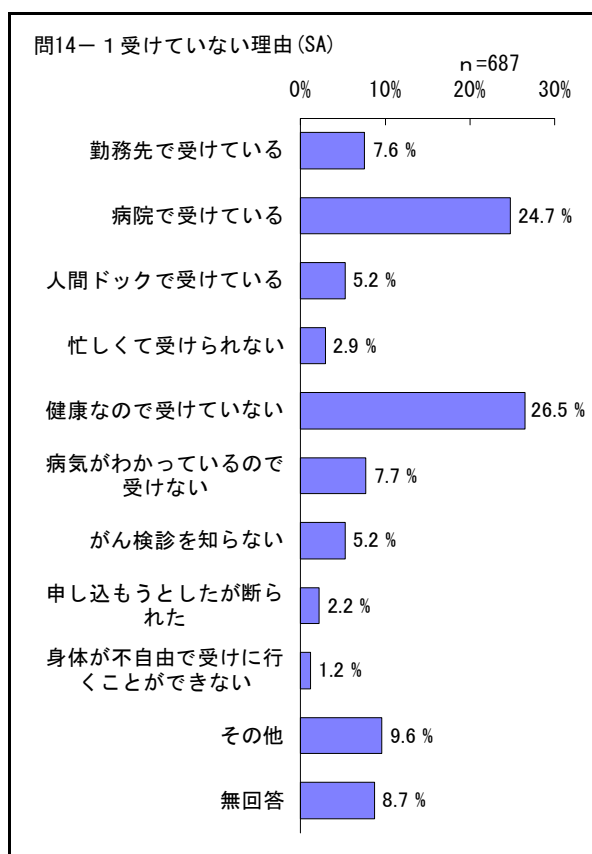
がん検診の受診についてみると、「受けていない」が 50.7%と最も多く、「毎年受けている」人は全体の 26.3%となっています。



問 14 「受けていない」を選んだ回答者

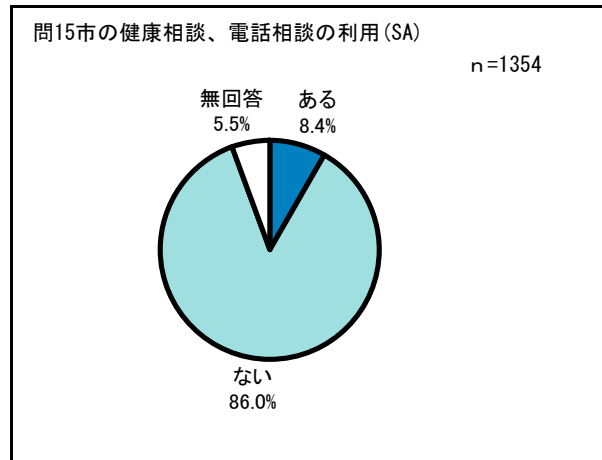
問 14-1 「受けていない」主な理由は何ですか。[単数回答]

受けていない主な理由についてみると、「健康なので受けていない」が 26.5%と最も多く、次いで「病院で受けている」が 24.7%となっています。



問 15 市で行っている健康相談、電話相談を利用したことはありますか。
[単数回答]

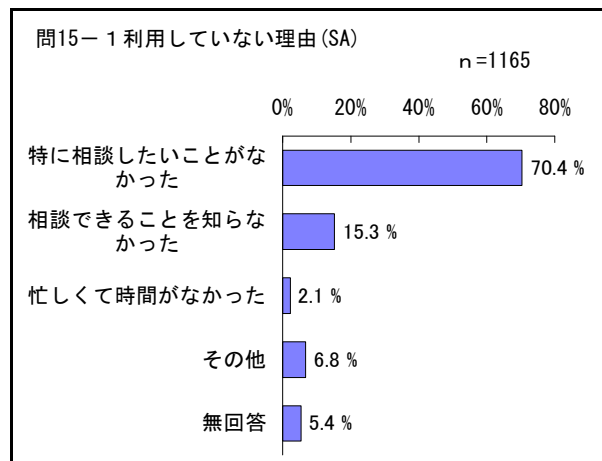
健康相談、電話相談を利用したことがあるかについてみると、「ない」が86.0%と最も多くなっています。



問 15 「ない」を選んだ回答者

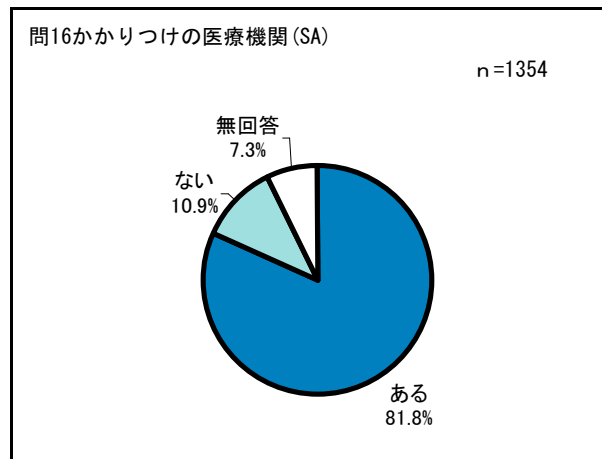
問 15-1 健康相談や電話相談を利用したことがないのはなぜですか。 [単数回答]

利用したことがないのはなぜかについてみると、「特に相談したいことがなかった」が70.4%と最も多く、次いで「相談できることを知らなかった」が15.3%となっています。



問 16 あなたは、かかりつけの医療機関（診療所・医院・病院）がありますか。
[単数回答]

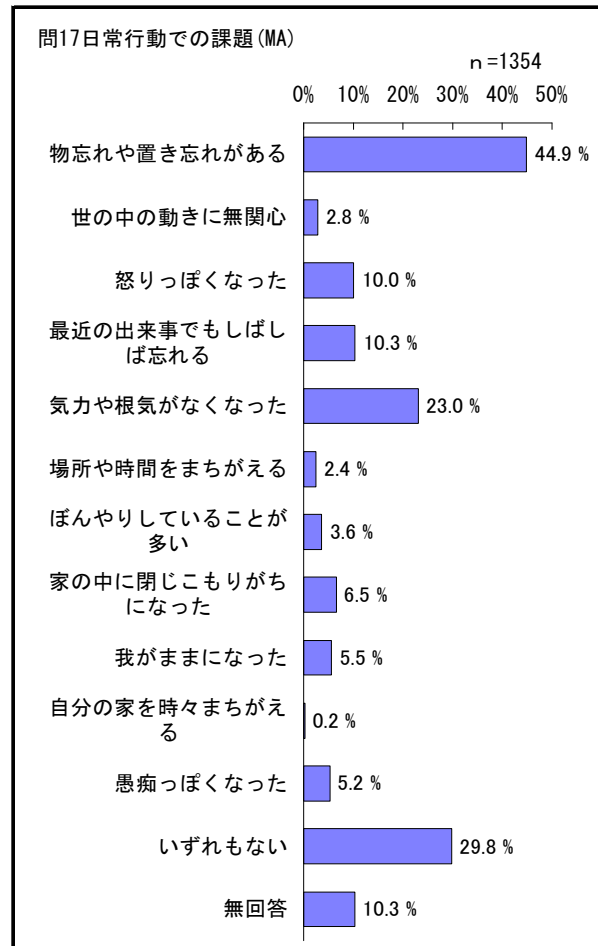
今かかりつけの医療機関があるかについてみると、「ある」が81.8%と最も多くなっています。



4. 本人の日常生活について

問 17 あなたは、日常行動で次のような事を自分で感じたり他人に言われたりしたことがありますか。[複数回答]

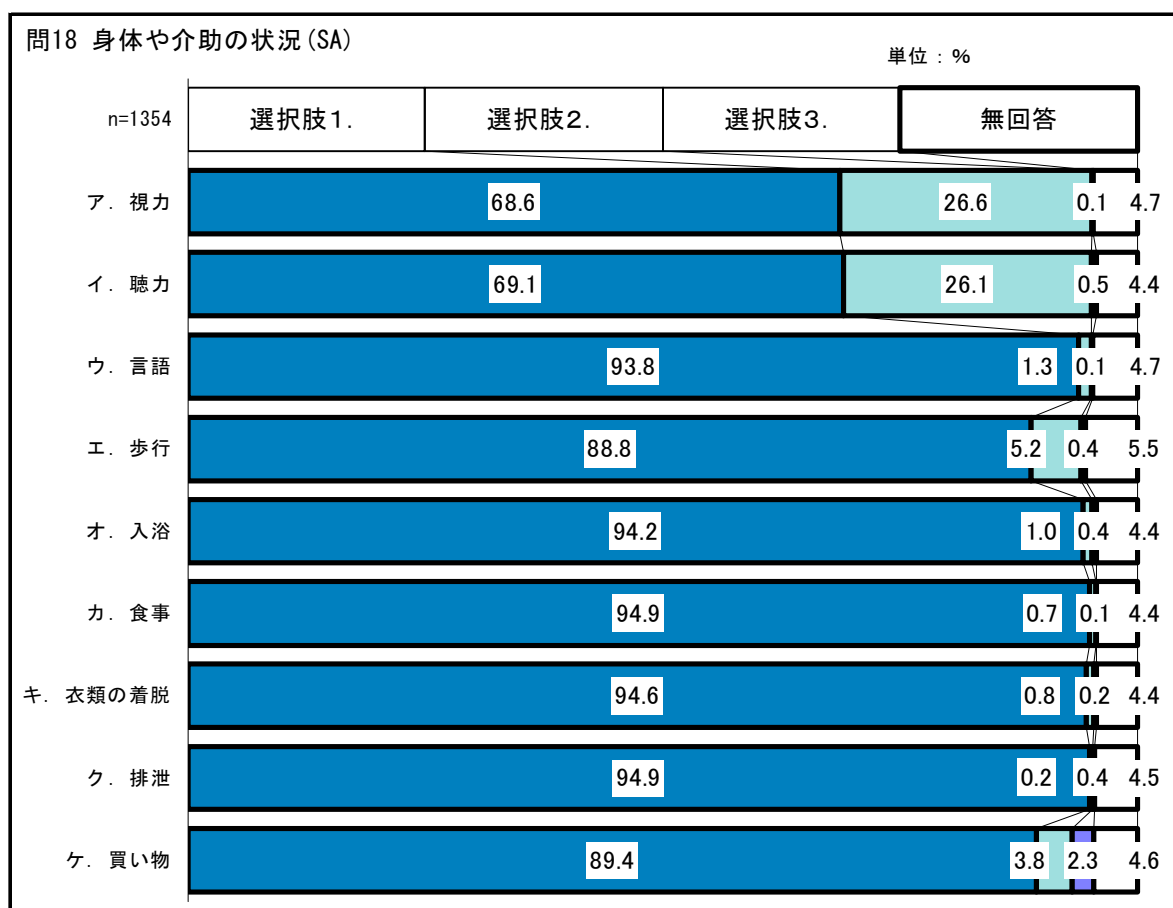
日常の行動で感じたり、他人に言われることについてみると、「物忘れや置き忘れがある」が44.9%と最も多く、次いで「いずれもない」が29.8%となっています。



問 18 あなたの身体や介助の状況についてうかがいます。[単数回答]

(※ 選択肢は以下のとおりです。)

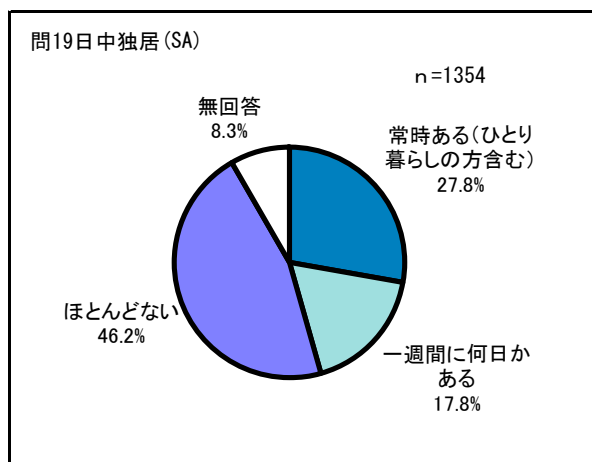
ア. 視力	1. 普通に見える	2. 見えにくい	3. ほとんど見えない
イ. 聴力	1. 普通に聞こえる	2. 聞こえにくい	3. ほとんど聞こえない
ウ. 言語	1. 普通に話せる	2. 少し話せる	3. ほとんど話せない
エ. 歩行	1. 普通に歩ける	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
オ. 入浴	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
カ. 食事	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
キ. 衣類の着脱	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
ク. 排泄	1. 自分でできる	2. 一部介助が必要	3. 全部介助が必要
ケ. 買い物	1. 自分で行ける	2. 同伴者で行く	3. 自分では行けない



身体や介助の状況については、すべての項目で1に該当する『不自由を感じていない』選択肢が6割を超えてもっとも高くなっています。2に該当する『少し不自由を感じている』選択肢については、「視力」(見えにくい:26.6%)、「聴力」(聞こえにくい:26.1%)が目立ちます。3に該当する『不自由を感じている』選択肢では、ほとんどの項目で1%を下回りごくわずかな回答となっていますが、「買い物」については2.3%が自分では行けないという結果となっています。

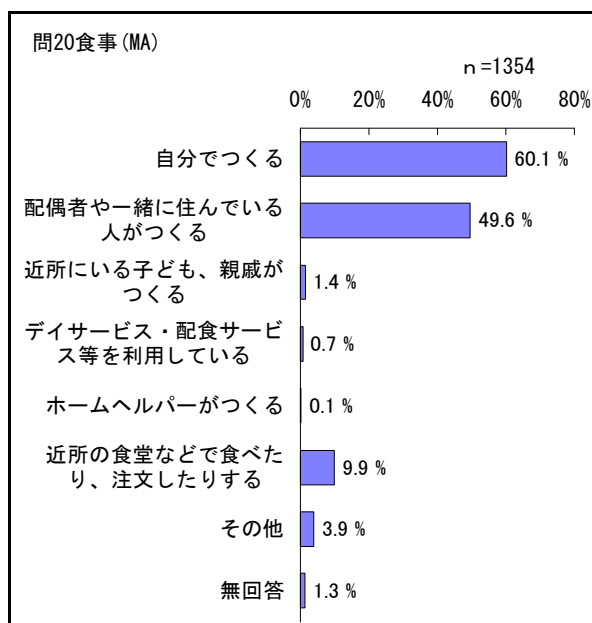
問 19 家族が仕事や学校に行っているため、あなたが日中ひとりになることはありますか。[単数回答]

あなたが日中ひとりになることについてみると、「常時ある（ひとり暮らしの方含む）」と回答した方は 27.8%おり、「一週間に何日かある」（17.8%）と合わせた『ひとりになることがある』方は全体の 4 割を超えています。



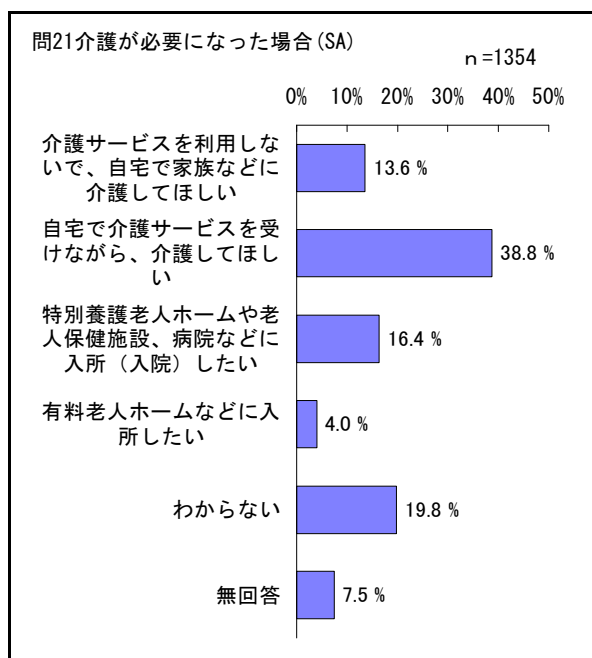
問 20 あなたは、ふだん、食事をどのようにしていますか。[複数回答]

食事をどのようにしているかについてみると、「自分でつくる」が 60.1%と最も多く、次いで「配偶者や一緒に住んでいる人がつくる」が 49.6%となっています。



問 21 今後、仮にあなたに介護が必要になった場合、どのようにしたいとお考えですか。[単数回答]

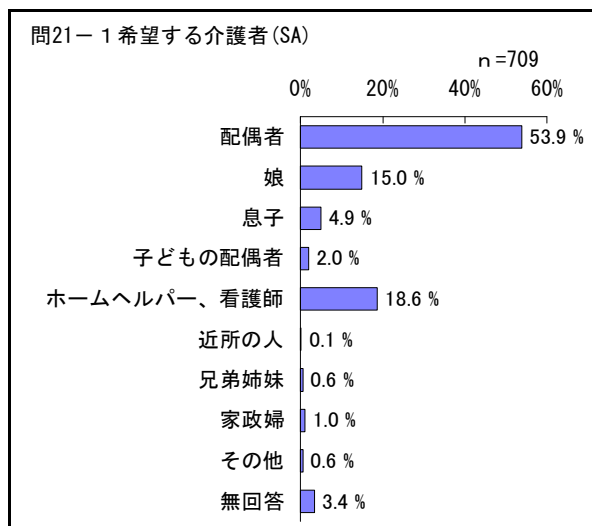
今後どのようにしたいかについてみると、「自宅で介護サービスを受けながら、介護してほしい」が 38.8%と最も多く、次いで「わからない」が 19.8%となっています。



問 21 「介護サービスを利用しないで、自宅で家族などに介護してほしい」、「自宅で介護サービスを受けながら、介護してほしい」を選んだ回答者

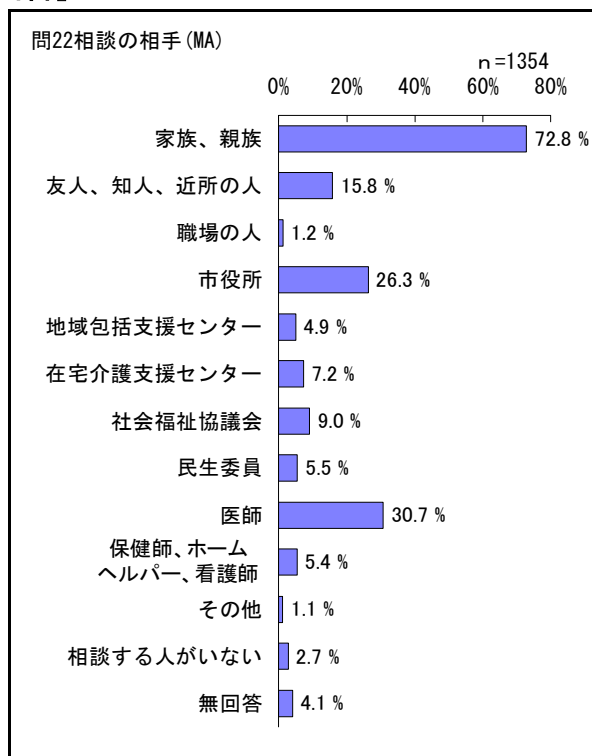
問 21-1 誰に介護してほしいですか。[単数回答]

誰に介護してほしいかについてみると、「配偶者」が 53.9%と最も多く、次いで「ホームヘルパー、看護師」が 18.6%となっています。



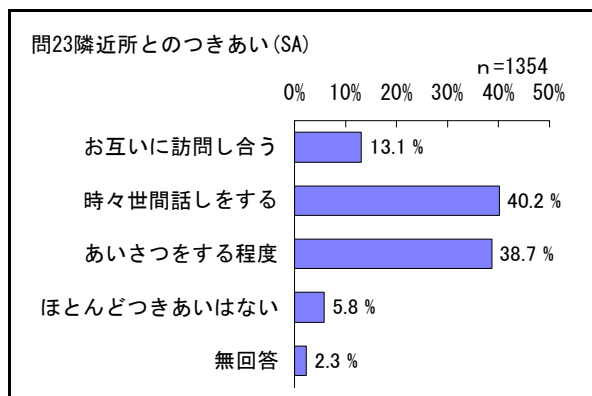
問 22 ふだん、健康や福祉のことで困ったとき、誰に相談しますか。あるいは誰に相談したいとお考えですか。[複数回答]

誰に相談するかについてみると、「家族、親族」が72.8%と最も多く、次いで「医師」が30.7%となっています。



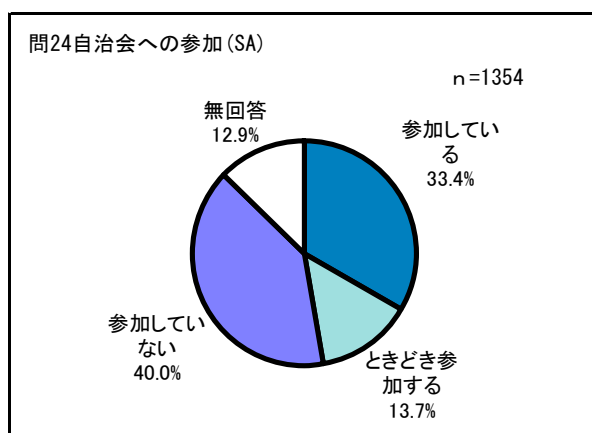
問 23 あなたは、隣近所とどの程度のつきあいをしていますか。[単数回答]

隣近所とどの程度のつきあいをしているかについてみると、「時々世間話をする」が40.2%と最も多く、次いで「あいさつをする程度」が38.7%となっています。



問 24 あなたは、地域や各種の団体に加入したり、団体が行う行事や事業に参加したりしていますか。[単数回答]

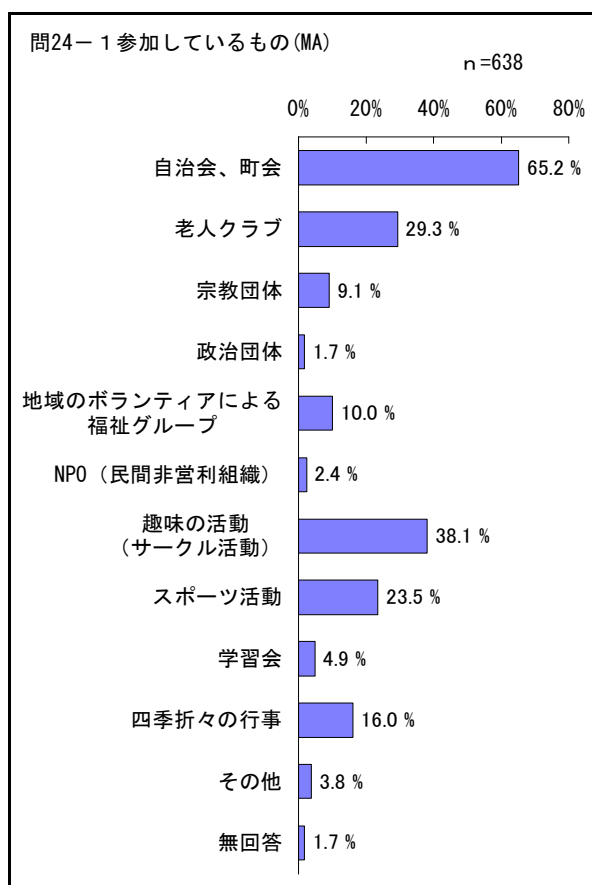
地域や各種の団体や事業への参加についてみると、「参加している」が 33.4% となっています。



問 24 「参加している」、「ときどき参加する」を選んだ回答者

問 24-1 「参加している」ものは何ですか。[複数回答]

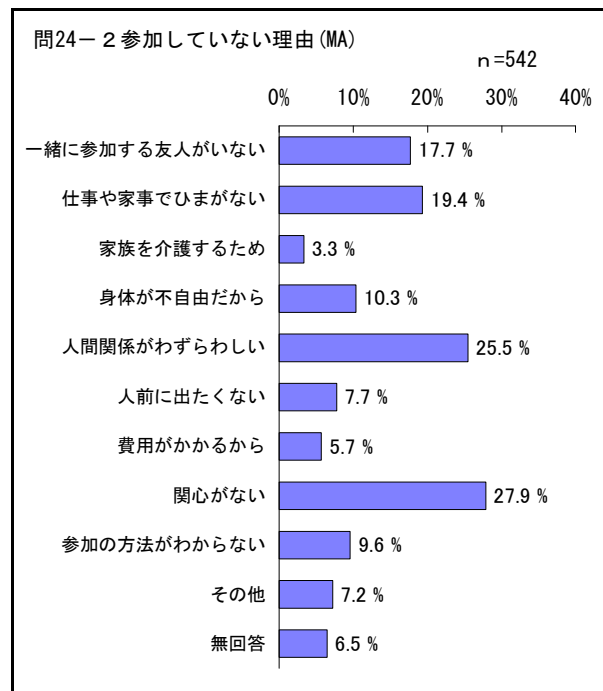
参加しているものについてみると、「自治会、町会」が 65.2%と最も多く、次いで「趣味の活動（サークル活動）」が 38.1%となっています。



問 24 「参加していない」を選んだ回答者

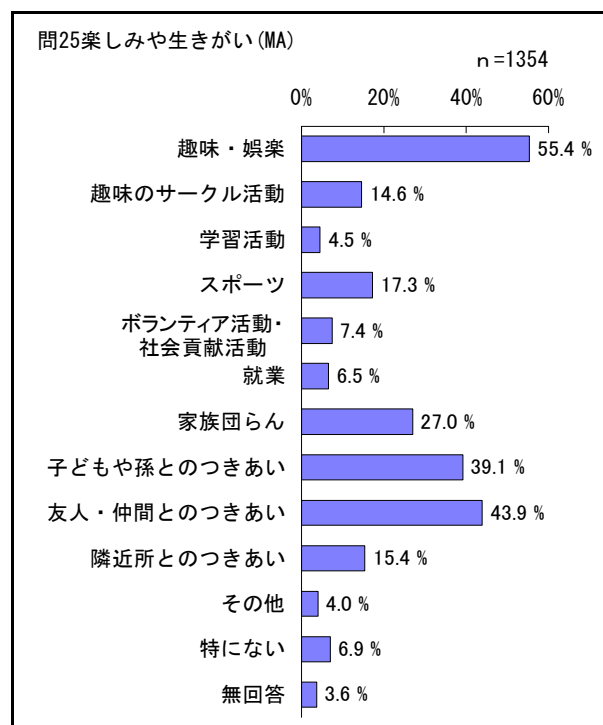
問 24-2 「参加していない」主な理由はどれですか。[複数回答]

主な理由についてみると、「関心がない」が27.9%と最も多く、次いで「人間関係がわずらわしい」が25.5%となっています。



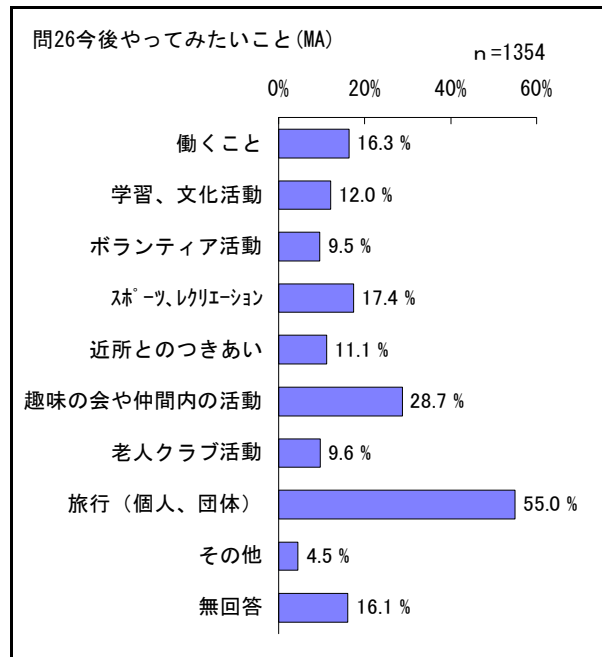
問 25 あなたの楽しみや生きがいは何ですか。[複数回答]

楽しみや生きがいについてみると、「趣味・娯楽」が55.4%と最も多く、次いで「友人・仲間とのつきあい」が43.9%となっています。



問 26 あなたが今後やってみたいことはどんなことですか。[複数回答]

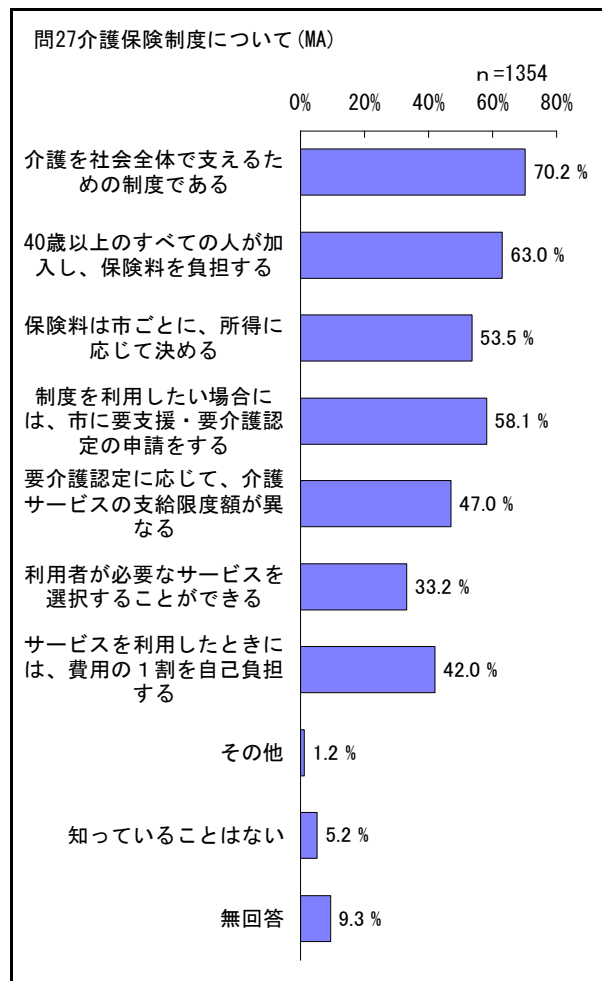
今後やってみたいことについてみると、「旅行（個人、団体）」が 55.0%と最も多く、次いで「趣味の会や仲間内の活動」が 28.7%となっています。



5. 介護保険について

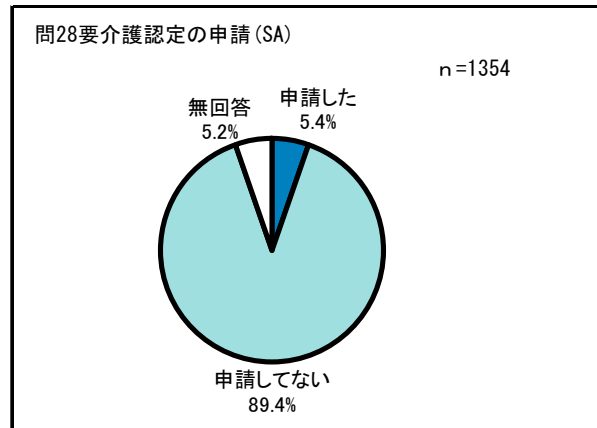
問 27 あなたが、介護保険制度について知っていることは何ですか。[複数回答]

介護保険制度についてみると、「介護を社会全体で支えるための制度である」が 70.2%と最も多く、次いで「40歳以上のすべての人が加入し、保険料を負担する」が 63.0%となっています。



問 28 あなたは、介護保険制度の要介護認定の申請をしたことがありますか。
[単数回答]

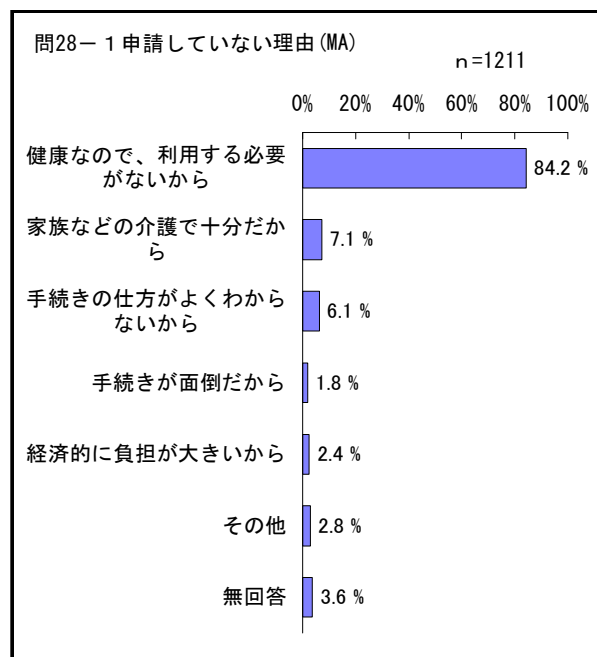
要介護認定の申請をしたことがあるかについてみると、「申請した」人は全体の5.4%となっています。



問 28 「申請していない」を選んだ回答者

問 28-1 要介護認定を申請していない理由は何ですか。[複数回答]

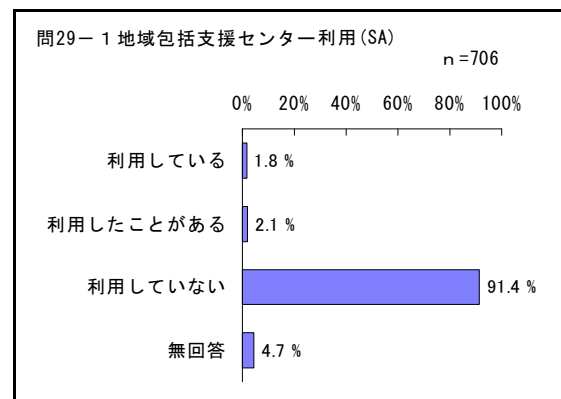
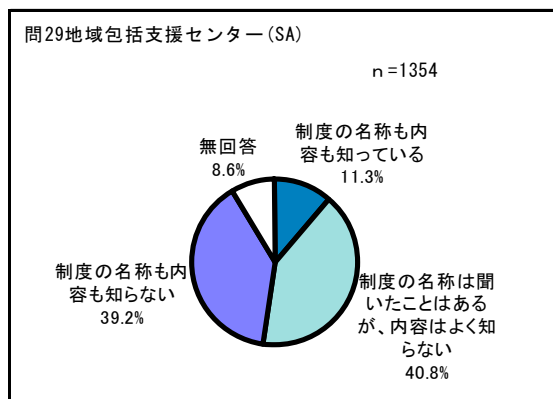
申請していない理由についてみると、「健康なので、利用する必要がないから」が84.2%と最も多くなっています。



問 29 「地域包括支援センター」は、地域高齢者の心身の健康維持や生活の安定、保健・福祉・医療の向上、財産管理、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的なマネジメントを担い、課題解決に向けた取り組みを実践していくことをその主な業務としていますが、ご存知ですか。[単数回答]

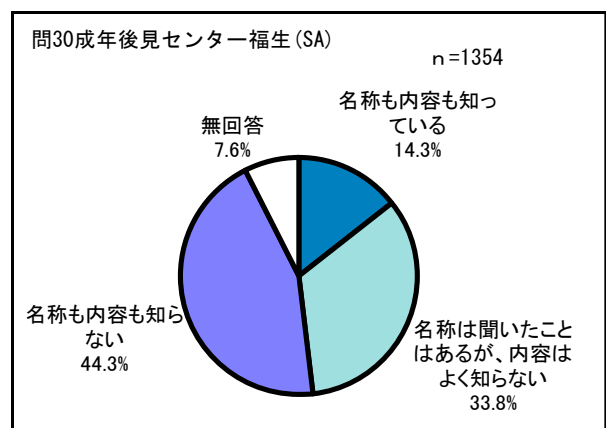
問 29-1 地域包括支援センターを利用していますか（したことがありますか）。
[単数回答]

地域包括支援センターの認知度についてみると、「制度の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が40.8%と最も多く、次いで「制度の名称も内容も知らない」が39.2%となっています。地域包括支援センターの利用についてみると、「利用している」は1.8%となっています。



問 30 「成年後見センター福生」では、認知症等判断能力が十分でないため、日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用手続きなどの援助や代行、利用料の支払いなどを行い、地域で自立した生活を送れるように支援する「地域福祉権利擁護事業」（福祉サービス利用援助事業）や認知症等のため判断能力が不十分であるため、本人に代わって後見人が各種契約行為、金融機関との取引や本人の財産管理などを行い、悪徳商法の被害、高齢者虐待などから保護し、支援する「成年後見制度」など福祉サービス総合支援事業を実施していますが「成年後見センター福生」をご存知ですか。[単数回答]

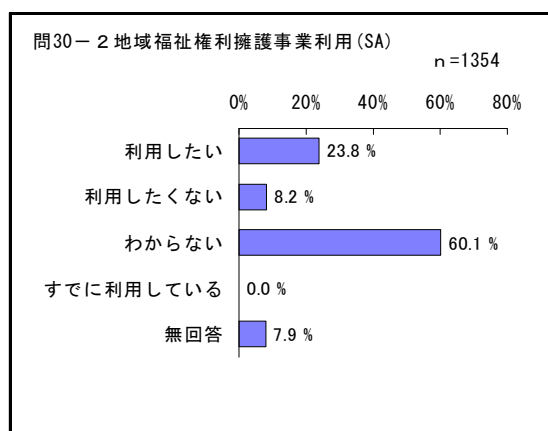
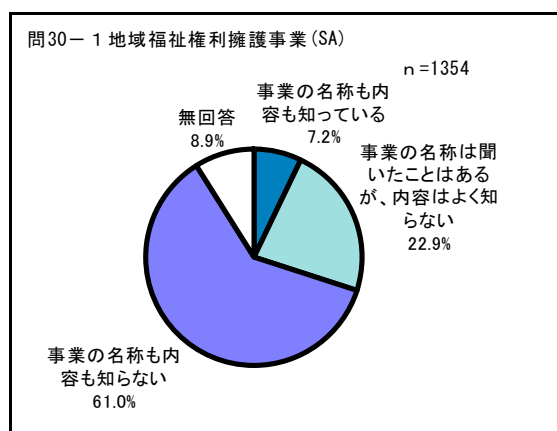
成年後見センター福生についてみると、「名前も名称も知らない」が44.3%と最も多くなっています。



問 30-1 「地域福祉権利擁護事業」についてお聞きします。[単数回答]

問 30-2 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「地域福祉権利擁護事業」を利用したいですか。[単数回答]

「地域福祉権利擁護事業」の認知度ついてみると、「事業の名称も内容も知らない」が 61.0%と最も多く、次いで「事業の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が 22.9%となっています。「地域福祉権利擁護事業」の今後の利用意向についてみると、「わからない」が 60.1%と最も多く、次いで「利用したい」が 23.8%となっています。



問 30-3 「成年後見制度」についてお聞きします。[単数回答]

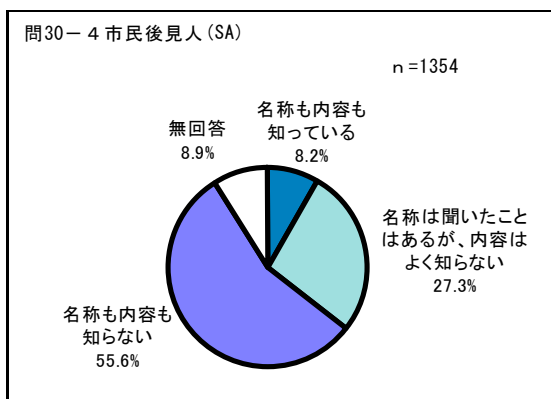
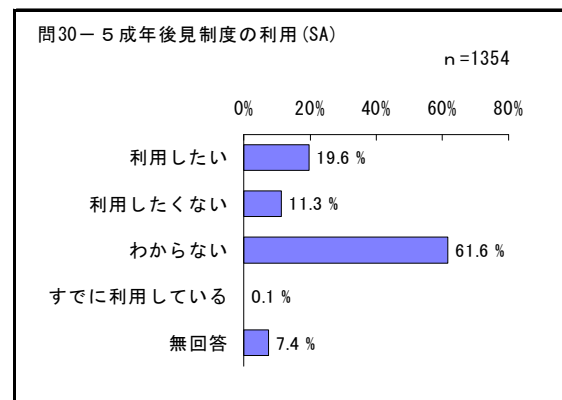
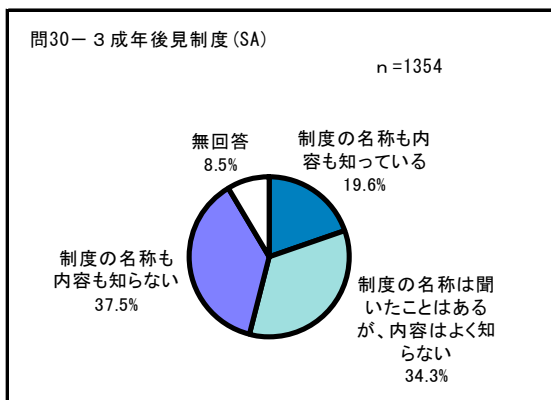
問 30-4 「市民後見人」についてお聞きします。[単数回答]

問 30-5 ご自身の判断能力が十分でなくなった場合、「成年後見制度」を利用したいですか。[単数回答]

成年後見制度の認知度についてみると、「制度の名称も内容も知らない」が37.5%と最も多く、次いで「制度の名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が34.3%となっています。

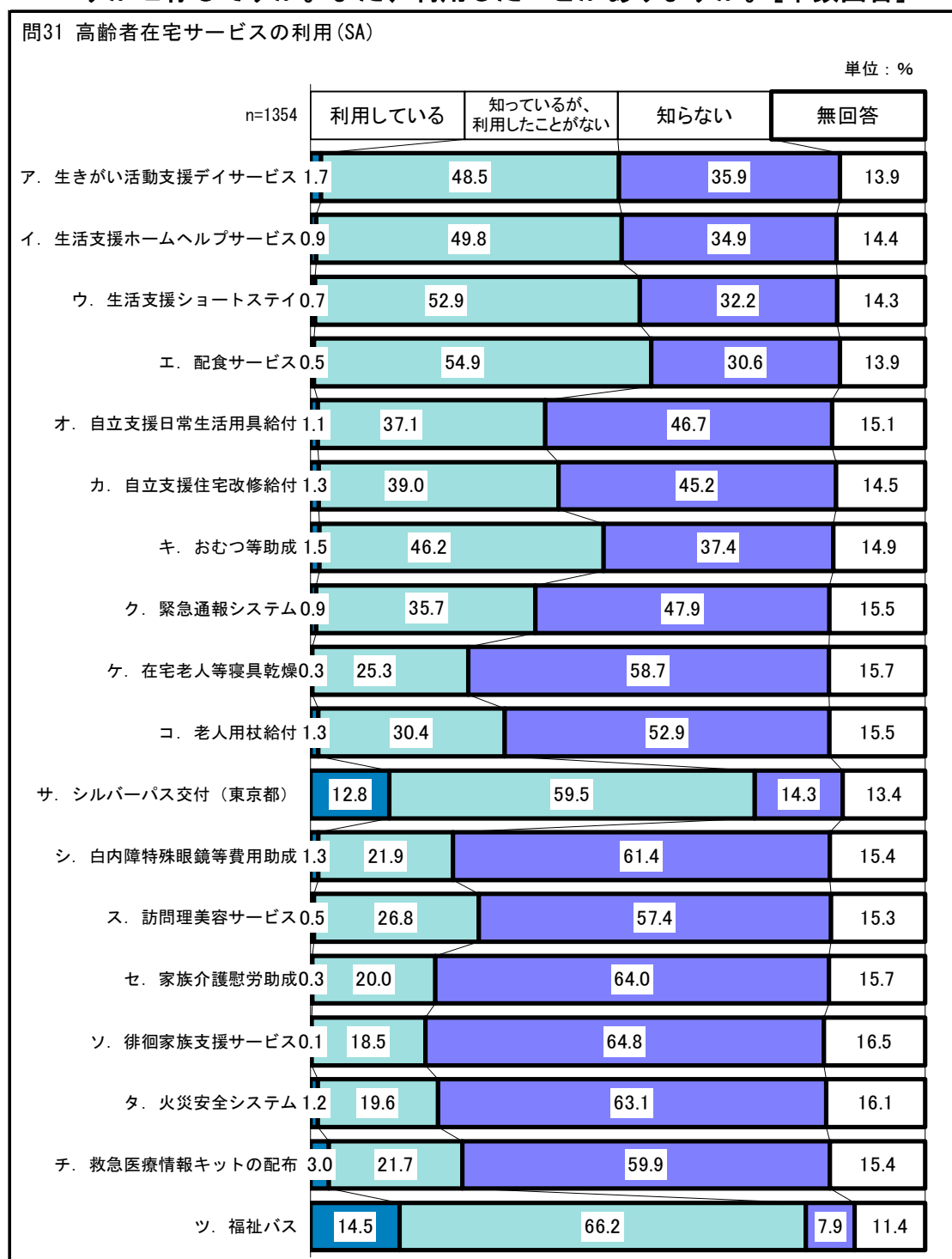
市民後見人の認知度についてみると、「名称も内容も知らない」が55.6%と最も多く、次いで「名称は聞いたことはあるが、内容は良く知らない」が27.3%となっています。

成年後見制度の今後の利用意向についてみると、「わからない」が61.6%と最も多くなっています。



6. 在宅サービスについて

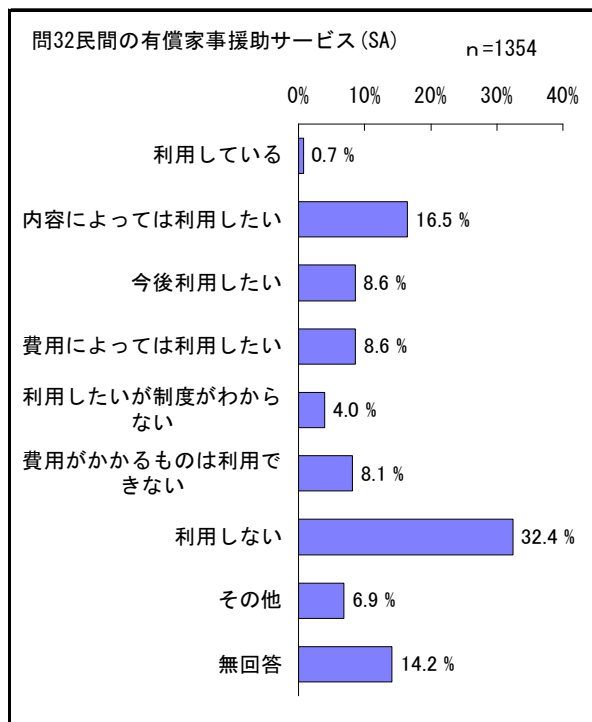
問 31 市では、介護保険制度以外に、次のような高齢者在宅サービスを行っていますがご存じですか。また、利用したことがありますか。[単数回答]



高齢者在宅サービスの利用についてみると、「福祉バス」(14.5%)、「シルバーパス交付 (東京都)」(12.8%)を除く全てのサービスで利用は3%以下となっています。

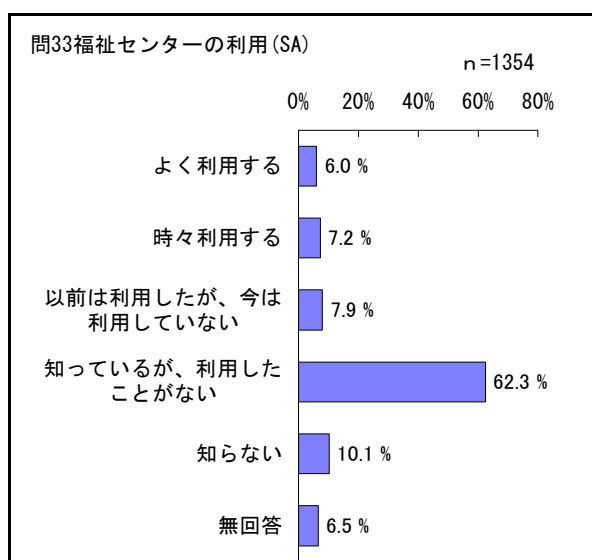
問 32 あなたは、食事のしたく、掃除、買物、話し相手、通院の付き添い、洗濯、留守番などの家事援助を中心とした民間の有償家事援助サービスを利用したいと思いますか。[単数回答]

有償家事援助サービスを利用したいかについてみると、「利用しない」が32.4%と最も多く、次いで「内容によっては利用したい」が16.5%となっています。



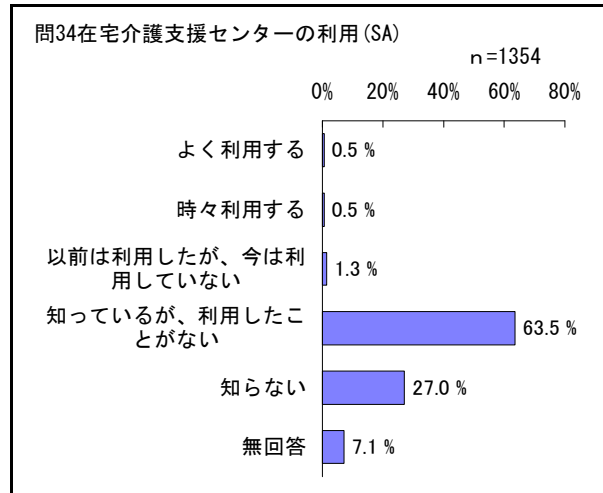
問 33 あなたは、福祉センターを利用したことがありますか。[単数回答]

福祉センターを利用したことがあるかについてみると、「知っているが、利用したことがない」が62.3%と最も多くなっています。



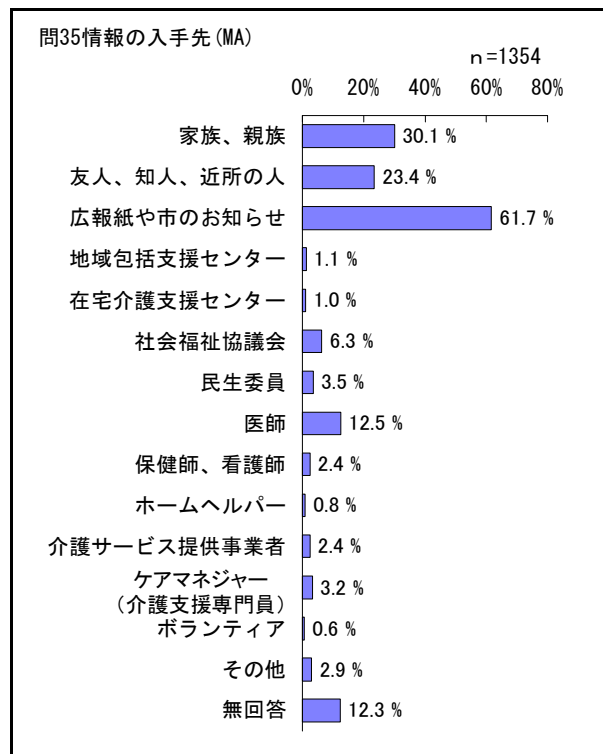
問 34 あなたは、在宅介護支援センターを利用したことがありますか。[単数回答]

今在宅介護支援センターを利用したことがあるかについてみると、「知っているが、利用したことがない」が63.5%となっています。



問 35 高齢者福祉や保健に関する情報の入手先は次のどれですか。[複数回答]

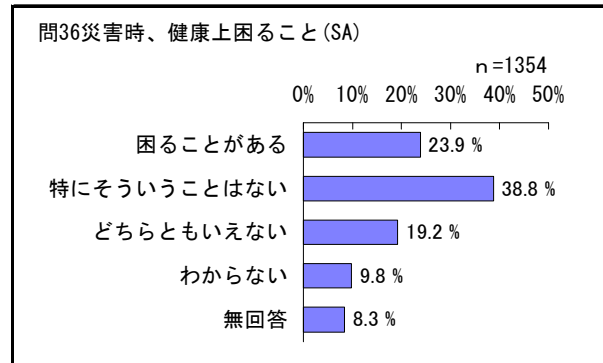
情報の入手先についてみると、「広報紙や市のお知らせ」が61.7%と最も多く、次いで「家族、親族」30.1%となっています。



7. 災害対策について

問 36 災害などが発生した時、数日間医療機関で受診や医療を受けられなかった場合、健康上困ることがありますか。[単数回答]

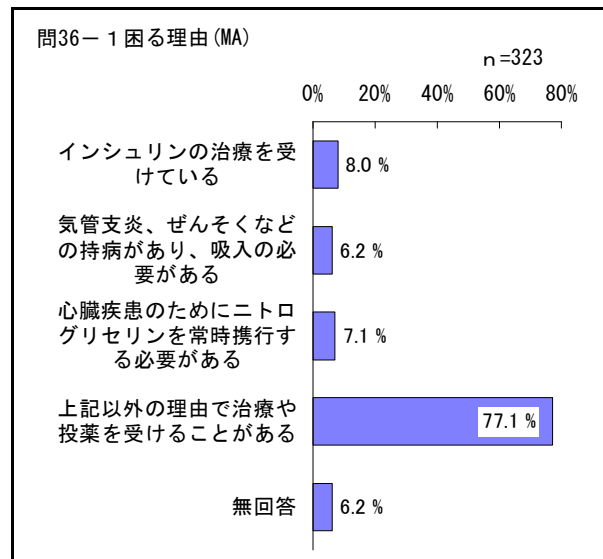
災害時に健康上困ることについてみると、「特にそういうことはない」が38.8%と最も多くなっていますが、「困ることがある」と回答している人も23.9%みられます。



問 36 「困ることがある」を選んだ回答者

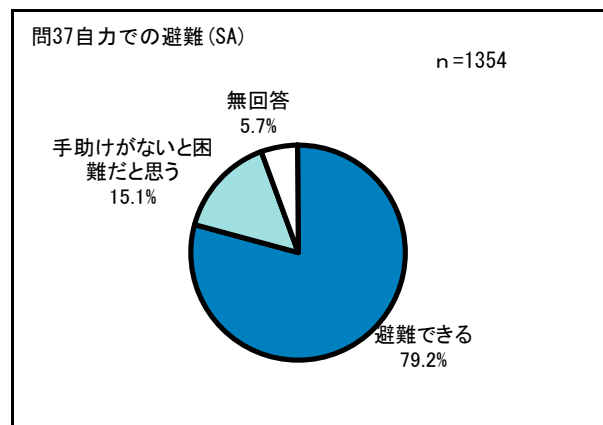
問 36-1 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

理由についてみると、「上記以外の理由で治療や投薬を受けることがある」が77.1%と最も多くなっています。



問 37 震災や水害などの災害発生時に、あなたは自力で避難することができますか。[単数回答]

自力で避難することができるかについてみると、「避難できる」が79.2%と最も多くなっていますが、「手助けがないと困難だと思う」と回答されている方も15.1%みられます。

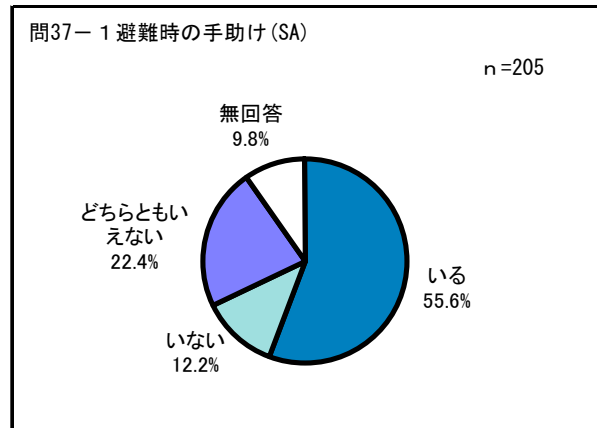


問 37 「手助けがないと困難だと思う」を選んだ回答者

問 37-1 災害発生に伴う避難時に、身近に手助けしてくれる人はいますか。

[単数回答]

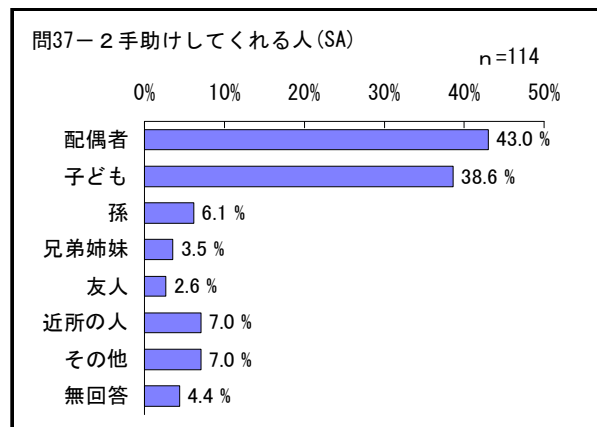
身近に手助けしてくれる人がいるかについてみると、「いる」が 55.6%と最も多くなっていますが、「いない」も 12.2%みられます。



問 37-1 「いる」を選んだ回答者

問 37-2 誰ですか。[単数回答]

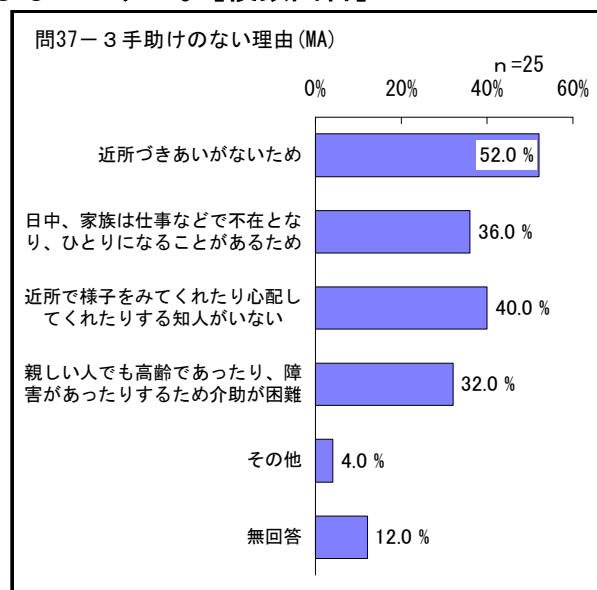
避難時に手助けしてくれる人についてみると、「配偶者」が 43.0%で最も多く、次いで「子ども」が 38.6%となっています。



問 37-1 「いない」、「どちらともいえない」を選んだ回答者

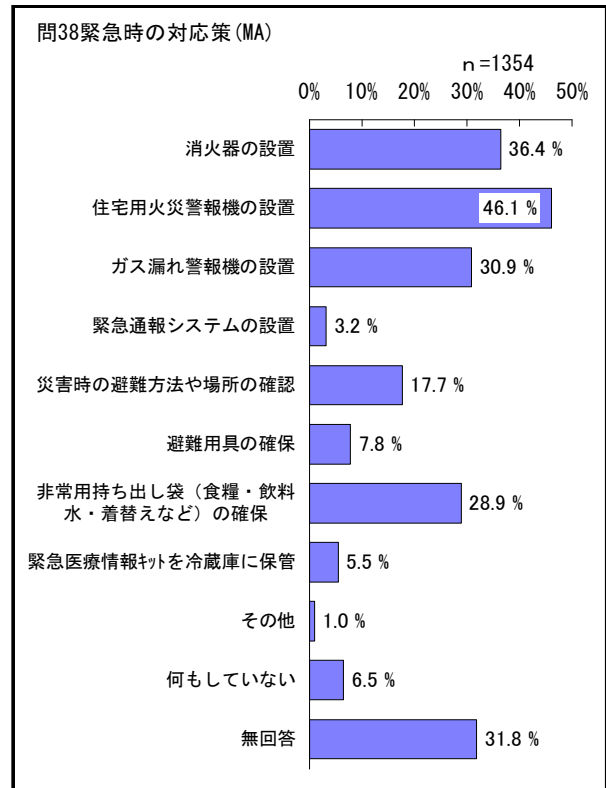
問 37-3 それはどのような理由によるものですか。[複数回答]

理由についてみると、「近所づきあいががないため」が 52.0%と最も多く、次いで「近所で様子を見てくれたり心配してくれたりする知人がいない」が 40.0%となっています。



問 38 ご家庭で緊急時の対応策として、どのような準備をしていますか。
[複数回答]

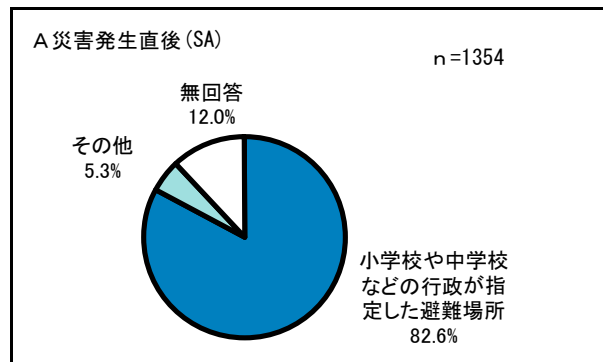
緊急時の対応策についてみると、「住宅用火災警報器の設置」が46.1%と最も多く、次いで「消火器の設置」が36.4%となっています。



問 39 もしも災害により自宅で生活するのが困難な状態になった場合、あなたの生活するところはどこになるとお考えですか。[単数回答]

《A：災害発生直後》
(発生時から1週間程度)

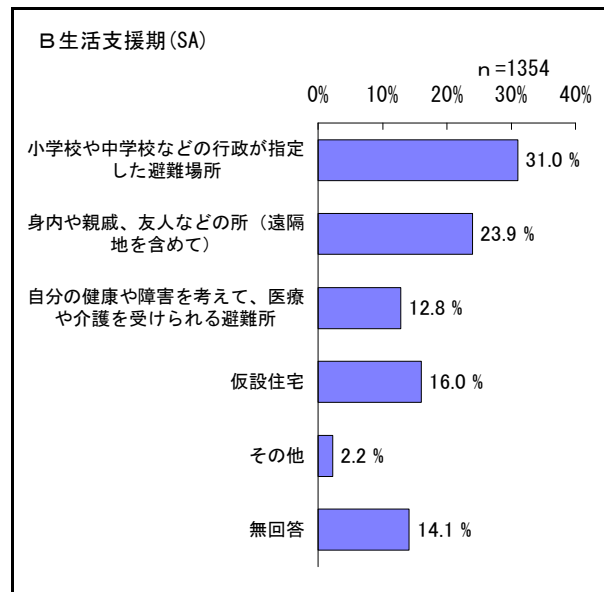
災害発生直後の生活場所についてみると、「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が82.6%と最も多くなっています。



《B：生活支援期》

(発生から1週間以上経過後)

生活支援期、生活するところについてみると、「小学校や中学校などの行政が指定した避難場所」が31.0%と最も多く、次いで「身内や親戚、友人などの所（遠隔地を含めて）」が23.9%となっています。



問 40 「災害時要援護者登録制度」は、災害発生時に自力で安全な場所へ避難することが困難な方が予め申請し、市の災害時要援護者台帳に登録することにより、その情報を地域の自主防災組織、民生委員・児童委員のほか、消防団、消防署、警察署、社会福祉協議会にも提供し、災害が発生した時の安否確認や避難誘導等の支援活動を迅速にできるようにする制度ですが、ご存知ですか。[単数回答]

災害時要援護者登録制度についてみると、「知っているが登録していない」が64.9%と最も多く、「知っているし、登録もした」との回答は3.9%となっています。

